

実践団体情報

記入日	西暦 2018年12月20日(2018年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
代表者名	幾島浩恵
プラン全体のタイトル	完成版 上富田ふれあいルーム防災年間計画！ 「季節のイベント防災カレンダー」 (季節の行事で学ぼう災!)製作
電話番号	0739-47-0135
メールアドレス	hiroe.ikushima@gmail.com
実践団体の説明	上富田ふれあいルームは、放課後子ども教室として、朝来小学校の3～6年生が、毎週土曜日に2時間ほど朝来児童館に集まり(年間48回)、手芸、工作、切り絵、季節の行事、海外の行事、防災教室等を楽しんでいます。子どもエコクラブ(あっそ児童館エコクラブ)にも登録し、リサイクル工作や、環境問題も学習しています。年に数回、社会見学としてバスなどで出かけることもあり、多彩な経験ができます。2018年度の登録者は約20名。学校とは違う自由な空間で、みんなのびのびと積極的にいろんなことにチャレンジしています。
所属メンバー	上富田ふれあいルームコーディネーター：榎本昌子 講師：幾島浩恵 他1名 安全監理員&ボランティア 4名+a
活動地域	和歌山県西牟婁郡上富田町朝来 朝来小学校校区
活動開始時期・結成時期	防災活動は2007年より
過去の活動履歴・受賞歴	2014年度防災教育チャレンジプラン 優秀賞 2014年度防災甲子園 フロンティア賞 2017年度防災教育チャレンジプラン 採択

<p>プラン全体の概要</p>	<p>目的 「防災は特別なものではなく、当たり前なもの」毎月の季節の行事に、防災に必要な知識と体験を取り入れることで、自然に楽しく防災を学ぶ。</p> <p>朝来（あっそ）児童館が避難所になった時の事を具体的に考え、行動できる小学生をめざす。</p> <p>災害時に「衣・食・住・要配慮者に気づき、声をかけることができる小学生」を目標とする。</p> <p>概要 1年間の行事に防災に関連させ、不便な中でも楽しみながら、衣・食・住を満たすことができる。</p> <p>「あいサポーター研修」「認知症サポーター研修」を受講することで、災害時だけでなく要配慮者を手助けすることができるようになる。また、過去に製作したオリジナルの手ぬぐいやバンダナの使い方を知り、それらをリュックや巾着にすることで、普段から身の周りに備えておくことができる。</p> <p>ガラクタワークで、環境にも配慮しつつ、地元の人とのつながりを広げる。</p> <p>和歌山県の「防災」に関わる物、場所、取り組みを知り体験することで、和歌山ならではの災害に立ち向かう力を得て「みんなで助かる」ための強い意志を持つことができる。</p> <p>効果 「防災」を「勉強」ではなく、「遊び」としてとらえることで、楽しみながら学ぶことができる。体験や学習だけでなく、自分達で考えた物を準備して身近に備えるので、いざという時に役に立つ。</p> <p>災害時に一番頼りになるのは身近な人である。自分の住む地域のスゴイところ「和歌山ってスゴイ！」を知ることで、誇りを持ち、地域を好きになり、地域の方との接点を多く持つことが出来た。これこそが「防災」の原点だと思う。</p> <p>防災だけでなく「環境・エコ・食育・福祉・医療・衛生・地域・連携・海外」を学ぶことができる</p>
-----------------	---

プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月			所用によりできず
5月	年度初めのはじめましてイベント	初めての子がなじめるように	おやつを使ったリュックで「初めまして会」
6月	梅雨・熱中症対策・キャンドルナイト	これから来る夏に向けて	雨、熱さ、暗さに役立つグッズ作り
7月	夏と言えばお化け屋敷	夏のイベント	お化け屋敷でパーティーション
8月	火おこし&初期消火	暑いけれど水遊びを兼ねて	太陽光による火おこしと初期消火のいろいろ
9月	防災運動会	運動会に使えるプログラム	防災イベントで運動会
10月	上富田町防災訓練参加	実際に役に立つか検証	SOS シート実験
11月	かまどベンチで焼き芋	いざという時に使えるように	かまどベンチの使い方
12月	クリスマスキャンドル	イベントを楽しむ防災	空き缶のキャンドルスタンド
1月	七草粥&今年の防災目標	1年のはじめの決意	家族の防災目標は？
2月	節分	「大丈夫」という思い込みが危ない	「正常性バイアス」を追い払おう
3月	一年の取り組みによる決意を未来の自分に伝える	今だけでなく未来へ	タイムカプセル郵便「未来ねっと」

プラン全体の反省点・課題・感想	もともと詰め込み気味だったが、自身の入院のため1か月活動できなくなり、後半はもっと詰め込みになってしまった。ノルマ（チャレンジプラン）があると、頑張れるが、もっと楽しむゆとりを持って実践したい。
今後の活動予定	今までの防災プランだけでも160あるので、その中から「今の子ども達に必要な」と思われる物を選択し、もっとゆっくりじっくりと取り組み、さらなる改善点を見つけ、より良いプログラムを作り上げていきたい。 今後も「防災」を主体にして、環境・福祉・医療・食育・地域・連携・海外についても広く子ども達に伝えていきたい。

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 5 月 12 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (1)
タイトル	リュックのいろいろ&お菓子のリュック作り
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	3000 円未満
実践の準備にかかった時間	数時間
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 5 月 12 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 5 月 12 日 15 時 00 分
実践の所要時間	1.5 時間
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性	幼児/保育園児/幼稚園児・小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	15 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	T シャツ、長ズボン、風呂敷を使ったリュックの作り方 30 キロと 10 キロの重さのリュック リュックを楽に背負う方法 準備した物 風呂敷・長袖 T シャツ・ズボン・ロープ・安全ピン お菓子…うまい棒・長くつながった小袋のお菓子・箱入りのお菓子・セロテープ

達成目標	リュックの便利さ (両手が空く・重くても運べるなど) が分かる 大体の重さの見当をつけることが出来る どのくらいの重さなら持つことが出来るかわかる 重いリュックを出来るだけ楽に背負う方法がわかる (体の高い位置に背負い、身体に密着させる) 身のまわりにある服や風呂敷を使って簡単なリュックを作ること
------	---

	<p>る</p> <p>リュックの構造を知る</p>	
<p>どの力を身につけようとしたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>かなり</p>
<p>実践内容・方法</p>	<p>・災害時に便利なリュックを身近な物で作ってみよう。また、お菓子でリュックを作り、最後にみんなで「これから1年よろしく」と、お菓子を食べながらお話ししましょう。</p> <p>1) リュックについて（ランドセルも同じ）手提げかばんと比べて何が優れているかを考える…両手が空く・重い物も持ちやすいなど。</p> <p>2) 10キロと30キロのリュックを手で持つ&背負い、またそれぞれのリュックの重さを当てさせる。また、リュックを身体の高い位置に背負い、ベルトを使って体に密着させると楽に運べることが分かる。</p> <p>3) 「リュックは便利」と分かったところで、お菓子とセロテープを使ってリュックを班ごとにつくる（リュックの構造が分かる）</p> <p>4) 自分達のリュックの「ポイント」を説明して、背負い、ファッションショーのように歩いてもらう</p> <p>5) 風呂敷、ズボンとロープ、長袖Tシャツを使ったリュックの作り方の練習</p> <p>6) 最後にお菓子のリュックをバラしてみんなで分けて食べる（1年のスタートなので、「これからよろしくねの会」として）</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		



得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 30 キロのリュックを手で持ち上げるのはかなり苦労していたが、背負うことは、最初に少し手伝うだけで全員が背負い、歩くことができた ・ 重さを推測するのは難しい様子。30 キロを「10 キロ」と答えた子もいた ・ 「お菓子のリュック」はデザイン的にも優れていて、「小さいポケットを作って小物入れに」とか「ロケットの噴射口」を作って「飛べる？」ようにした班もあった。 	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫	Tシャツやズボンを使ったリュックよりも、風呂敷の方が子どもには馴染みがなく、作り方を覚えるのは難しそうに見えた。	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>学校にランドセルを背負っていくのは、ランドセルが重い物を楽に持つことが出来るからと、両手が空くからです。災害時には出来るだけ両手を空けて（家族と手をつなげるように・足元が不安定で転んだときにも手をつけるように）安全に避難することが必要なので、身近な物でリュックを作ることが出来る事を覚えておいて欲しいです。また、自分や家族がどのくらいの重さなら背負って走ることが</p>

	<p>出来るかを事前に知り、それに合わせた避難リュックを準備しておいてください。</p> <p>今日分かったと思うけれど、重たい物は身体の上の方にある方が軽く感じるし、身体に密着させて揺れないようにすると運びやすいですね。</p> <p>遠足とか登山とかリュックを使う時にもこの方法を知っていると役に立つと思います。</p>
--	--

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 5 月 12 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (2)
タイトル	サツマイモを植えよう (秋に火おこし体験とかまどベンチ体験とセットで焼き芋パーティー予定) & 上富田町の名産ひょうたんを育てよう
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	1000 円未満
実践の準備にかかった時間	数時間 (広さや畑の状態にもよるが、畑の石、雑草の除去・耕す・鶏糞、石灰すきこみ、畝立て、苗の購入には約半日かかった)
実践活動を実施した日	西暦 2018 年 5 月 12 日 15 時 00 分 ～西暦 2018 年 5 月 12 日 15 時 30 分
実践の所要時間	30 分
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性	保育園児/幼稚園児・小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一・高齢者・
防災教育の対象者の人数	15 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	サツマイモの植えつけ方 ひょうたんの植え方 準備した物 (事前準備として) 鶏糞・石灰・くわ 苗・スコップ・軍手等 (後に) 追肥・ひょうたんの支柱・麻ひも

達成目標	サツマイモの植え方、苗について (根がない苗) 知る サツマイモが歴史上食糧難にどのように役だったかを知る
------	--

	<p>サツマイモの保存方法を知る（寒さに弱い） サツマイモを美味しく焼き芋にするには（時間をかけてでんぷんを糊化させる）（子どもエコクラブの活動①…栽培） 上富田町の名産「岡のひょうたん」について知り、ひょうたんの育て方、加工の仕方を教わる（子どもエコクラブの活動②…栽培）</p>	
<p>どの力を身につけようとしたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>かなり</p>
<p>実践内容・方法</p>	<p>「こどもエコクラブ」の一環として、自分達でサツマイモを植え、育て、秋に「火おこし体験」と「かまどベンチ体験」とセットで「焼き芋パーティー」を企画。今までに交流のあった、「牟婁さくら園」「上富田町身体障害者会」「山桃会」ひょうたんの苗を提供して下さった「岡老人会」の方々を招待する予定。</p> <p>1) 事前準備として、石、雑草の除去・耕す・鶏糞、石灰すきこみ、畝立てを行う</p> <p>2) 当日、準備したサツマイモの苗について、農業高校の先生から説明を受ける</p> <p>3) みんなで定植、水やり</p> <p>4) 上富田町の特産品「ひょうたん」の苗を、地元の「岡老人会」から譲ってもらったので、それも一緒に植える。</p>	
<p>得られた成果</p>	<p>サツマイモは、「種」や「イモ」や「根の付いた苗」ではなく「ツル」を植えるということを知らない子もいた。 サツマイモのスゴさ、美味しく焼く方法など、子どもには初めて知るこ</p>	



	<p>とが多かったようだ</p> <p>秋のイベントを楽しみに世話をすることができる</p> <p>上富田町の名産「岡のひょうたん」を育て、収穫後には「岡老人会」の協力のもとで、ひょうたんの加工にも挑戦する</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫	<p>無事に育つか…</p> <p>植えるのは30分で終わるが、今後、夏の水やりや追肥、草むしり、天候に左右されるので、収穫まで不安がある</p>	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について		
関係者の名前・団体名	幾島崇さん 和歌山県立南部高等学校	
関係者の説明	高校教諭（農業科）	
関係者の連絡先	0739-72-2056	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	<p>人間は、生きるためには食べなければならず、食べるためには育てなければならぬ（自然から食物を得るのは難しい）</p> <p>サツマイモはカロリーが高く、痩せた土地でも育てやすいので、飢饉や戦中、戦後の食糧難を乗り切るうえで役に立ったと言われています。ツルも皮をむいてあく抜きすれば、煮潰けにして食べられます。やってみてほしい人はぜひどうぞ。皮をむくのは結構大変なので、お家の人に任せずに自分でやること。手が黒くなるからビニールの手袋があるといいかもね。</p> <p>作物によって育ちやすい環境や特性があり、保存の方法や調理の仕方も異なります。どうせならちょっと勉強して、美味しく頂こう。</p> <p>秋の収穫が楽しみですね。</p> <p>今までにお世話になった人を招待して、焼き芋パーティーをしましょう</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 5 月 19 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム (天神崎自然観察教室参加)
実践番号	チャレプラ (3)
タイトル	ナショナルトラスト発祥の地！ 南方熊楠が残した天神崎を歩こう (天神崎自然観察教室参加)
実践担当者のお名前	幾島浩恵 (引率)
実践にかかった金額	0 円
実践の準備にかかった時間	数時間 (参加希望を募り、町のバスや運転手の手配、参加申し込みは一人ずつ入力が必要)
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 5 月 19 日 9 時 30 分～西暦 2018 年 5 月 19 日 15 時 30 分
実践の所要時間	6 時間
実践の運営側で動いた人の人数	6 人
防災教育の対象者の属性	幼児/保育園児/幼稚園児・小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・外国人留学生・教職員/保育士等・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般・女性・防災関係者
防災教育の対象者の人数	(ふれあいルームからの参加者) 15 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県田辺市
実践を行った具体的な場所	天神崎の丸山周辺の磯・日和山
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	天神崎の自然を守る会の会員 (ナショナルトラストの知識) 南方熊楠の知識・津波避難について (お茶・タオル・帽子持参)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ナショナルトラストについて知る (和歌山ってスゴイ①…和歌山発のナショナルトラスト) ・南方熊楠について知る (和歌山ってスゴイ②…和歌山の偉人) ・海の生き物、山の生き物について知る ・海の近くで地震が起きた時に気を付けることが分かる ・「天神崎の自然を守る会」の活動を知る。 (子どもエコクラブ③…自然保護に関する学習)

どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	かなり
実践内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・町のバス手配 ・天神崎自然観察教室参加希望者を募り、申し込み ・現地まで引率 ・「天神崎自然観察教室」参加 「地震・津波」の時に必要な情報を探す（看板や標識など） 	
 		
 		
得られた成果	<p>海のない上富町では、地震の後の津波について意識が低いように感じていた。今回海の近くで津波を示す看板を見て、遊び、学びながら今地震が起きたならどうすべきかを考える機会を持つことができた。</p>	

	避難経路や標高を記した看板を見て、田辺に予想されている津波の高さを知り、避難経路を歩くことで、その時がきたらどうしたらよいかをその場で知ることができた。	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫	「天神崎の自然を守る会」の方々も高齢化してきているとの事。いつまでもこの活動が続いてほしいと思う。 天神崎から離れた所に住んでいる私達に出来る事はなんだろうか？	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について		
関係者の名前・団体名	天神崎の自然を守る会	
関係者の説明	主催：関西広域連合広域環境保全局	
関係者の連絡先	077-522-5664	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	<p>上富田町は（一応）津波は来ないと言われているけれど、町内に大きな富田川があり、津波が川をさかのぼってくることも考えられます。大きな台風の時には水害に見舞われることから、土地も低い所が多い。海から児童館までの直線距離はわずか2キロほどで、山があるとはいえ、絶対に津波をさえぎってくれるかどうかはわかりません。</p> <p>「上富田だから大丈夫」と思い込むのは危険かなと思います。だから低い所に住んでいる私は田辺や白浜に「津波避難指示」が出たら、高台に避難することになっています。みんなも今住んでいる場所、毎日の通学路、それから、たまたま今日のように海辺に遊びに来ていた時に地震があったら、どうするべきか、普段から家族みんなで気にしておいてほしいです。</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 6 月 2 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (4)	
タイトル	梅雨なんてへっちゃら「ゴミ袋のレインコート」をつくろう 雨にも防寒にも服にもなるよ	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	1000 円未満	
実践の準備にかかった時間	なし	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 6 月 2 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 6 月 2 日 14 時 30 分	
実践の所要時間	1 時間	
実践の運営側で動いた人の人数	4 人	
防災教育の対象者の属性	全ての人々	
防災教育の対象者の人数	13 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ゴミ袋のレインコートの作り方 準備した物 透明ゴミ袋 45 リットル・ハサミ・テープ・油性マジック・シール・カラービニールテープ	
達成目標	雨を防ぐだけでなく防寒にもなり、トイレの時に体を隠すこともできる (黒ゴミ袋で製作すれば)「レインコート」を身近にある「ゴミ袋」で作ることができる	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	1) ゴミ袋をハサミで切ってフード付きレインコートを作る 2) オリジナルに仕上げるため、油性ペン、シール、カラービニールテープ等にかざる	

		
得られた成果	<p>思うようにゴミ袋を切ることができずに、穴を開けて頭と手をだしている子もいたが、それも一つの方法であり、間違いではないと伝えた。今回は透明のゴミ袋で製作したが、黒いゴミ袋を使うことでどんなメリット、デメリットがあるかも考えた。</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫	<p>良く切れるハサミでないと、ツーツと滑らせるようにしてゴミ袋を切るのは難しい。しかし、ゴミ袋なので、先の尖ったもので破り、手で裂いても作ることができる。</p> <p>町のビッグイベント「口熊野マラソン」は、雨に見舞われることが多く、ゴミ袋を被って走る姿を見かける。このレインコートなら頭を濡らさずに走れるのになあといつも思う。</p>	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	<p>ゴミ袋の切り方を工夫すると、フード付きの付きレインコートを作ることが出来ます。同じ袋で大人から子どもまで使うことができるところが便利です。でも、寒い時には頭と手を出す穴を開けてかぶった方がいいかもしれませんね。</p> <p>透明で作れば前も見やすく絵を書くこともできるけれど、黒いゴミ袋だとどうでしょうか？寒い時には黒いから、より温かいかもしれません。トイレの時に体を隠すこともできます。お母さんが赤ちゃんに授乳する時にも胸元を隠せますね。避難所では泣きたいことがあっても一人になる場所すらありませんが、これで自分を隠せるだけでも少しは気持ちが楽になるかもしれません。</p> <p>他にもゴミ袋がどんなことに使えるか考えてみましょう。</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 6 月 2 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (5)	
タイトル	梅雨のイライラを吹っ飛ばせ！大声コンテスト	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	0 円	
実践の準備にかかった時間	なし	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 6 月 2 日 14 時 30 分 ～西暦 2018 年 6 月 2 日 15 時 00 分	
実践の所要時間	30 分	
実践の運営側で動いた人の人数	4 人	
防災教育の対象者の属性	全ての人々	
防災教育の対象者の人数	13 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	声の大きさを判定する大人奇数	
達成目標	大声で助けを求める練習	
どの力を身につけようとしていましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	<p>(以前は「大声トライアル」を使用して声の大きさを測定したが、今回は使用せず)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 子ども達を 2 チームに分け、中央に大人 3 人が縦に並ぶ。 2) 両側から同時に同じ言葉を叫ばせる「津波だ逃げろ」「火事だ」など 3) どちらのチームの声が大きかったかを大人三人の多数決で判定する 4) 最後は、それぞれのチームの好きな言葉を叫ぶ 	

		
<p>得られた成果</p>	<p>最後にそれぞれの言葉で叫ばせると、何を言っているのか全く分からないので、「大声で知らせたいときは声を合わせる事」が大事ということも分かった。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<p>左右の耳でどちらの声が大きいかを判定するのは大人でもなかなか難しかった様子。(直感で決めてもらいましたが) 小学生だと、大声を出すのはそんなに抵抗はないかもしれないが大人に近づくにつれて羞恥心が出てくるため、大人にこそ練習が必要なのかもしれない</p>	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>		
<p>伝えたい相手</p>	<p>全ての人</p>	
<p>伝えたい内容</p>	<p>大声で何かを伝えることは勇気が必要です。でも、その一言が多くの人を救うかもしれません。「オオカミ少年」にならないように、冷静に状況を判断して、必要な時には声を出せるように、カラオケなどで大声をだしておくことも役に立つかもしれませんね。 こんな話もあります。不審者に会った時など、「誰か、助けて」と叫ぶよりは「火事だ」と叫んだ方が、人が集まってくれるらしいです。(不審者だと、関わると自分が大変なことになるかもしれないから、知らんぷりすることもあるけれど、火事なら、何とかしないと自分も危険になるからとの事) こんなことはない方がいいけど、もしもの時には覚えておいてください。 2016年は1日あたり100件もの火災が発生しているそうです。その火災の原因の1位は放火、建物火災では、台所のコンロ火災が多いです。みなさんの家に「火災警報器」はついてますか？今はすべての</p>	

	<p>住宅に設置することが義務化されています。</p> <p>火事を出さないようにするには、どんなことに気を付けたらいいか、オール電化でも電気からの火事も起こりますからね。</p> <p>火事を見つけたら、まずは今日のように「大声で知らせ」て、消防に連絡（消防は何番か知っていますか：119）それから消せる火かどうか見極めます。この「初期消火」についてはまたあらためて練習しましょうね。</p> <p>梅雨で外では遊べず、みんな元気を持って余していたんじゃないでしょうか？今日少しスッキリできたならよかったです。</p>
--	--

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 6 月 2 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (6)	
タイトル	経口補水液を準備しよう (大声コンテストで喉が渴いたから、「経口補水液」を作って飲んでみよう)	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	3000 円未満	
実践の準備にかかった時間	数十分 (買い物・試作)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 6 月 2 日 15 時 00 分 ～西暦 2018 年 6 月 2 日 15 時 30 分	
実践の所要時間	30 分	
実践の運営側で動いた人の人数	4 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・外国人留学生・教職員/保育士等・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	約 15 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	経口補水液のつくり方 準備した物 ・ 500ml 水×20・砂糖・塩・クエン酸 ・ (試飲用) ポカリスエット・アクエリアス ・ 計量スプーン・ジッパー付き食品用袋小・輪ゴム	
達成目標	脱水について知る (低調性脱水と高調性脱水の違いと治療方法) 脱水の予防方法について知る 経口補水液の作り方と効能が分かる ウメボシの効能が分かる (和歌山ってスゴイ③)	
どの力を身につけようとしていましたか?	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>1) 歯の治療とか、鼻血を飲み込んだりして、血をなめたことがあるかを聞き、どんな味だったかを聞く（鉄の味・塩辛いなど）</p> <p>2) 「血」には塩が含まれている事、多くの「点滴」にも塩が含まれている事を伝える</p> <p>3) ポカリスエットやアクエリアスにも塩が含まれていて、熱中症の時は水だけでなく、塩も取ることが必要と伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低張性脱水…水分以上に電解質（塩分など）の喪失が著しい状態 ・高張性脱水…水分が不足した状態 <p>4) ポカリスエット、アクエリアスを試飲&成分表を見る（塩が入っていることを確認する）</p> <p>5) 砂糖と塩を使った「経口補水液」の作り方 （水1リットルにつき、砂糖大さじ4と2分の1 塩小さじ2分の1） （飲んでみる・全員が「まずい」という）</p> <p>6) クエン酸をどれくらい入れたら美味しくなるか、少しずつ加えながら味見する（小さじ1~2杯）</p> <p>7) みんなが納得する味が決まったら、ジッパー付き食品袋に砂糖、塩、クエン酸を入れ、水1リットルとセットにしておく（いざという時に使用できるように）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>梅干しの効能…「水+梅干し」で水分と塩分の補給だけでなく、クエン酸補給による疲労回復につながります</p> </div>
	
<p>得られた成果</p>	<p>大声コンテストの後だったので、喉も乾き、同時に企画して良かったこの即席の「経口補水液」はあくまでも臨時のものであって、これさえ飲めば熱中症にならないとか、改善するワケではないことも伝えた</p>

	<p>下痢や嘔吐が影しい時は、出来るだけ市販の物を摂り、必要なら病院に行くこと。</p> <p>水分だけでなく塩分の重要性（脱水に種類があること）を知ることが出来た</p> <p>また、和歌山の特産梅干のスゴさも確認することができた</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫	<p>すっぱい味が好きで「クエン酸」をたくさん入れたがる子と苦手な子の中間を決めるのが難しかった。（みんなが飲める味にしようということで落ち着いた）砂糖・塩・クエン酸を混ぜたものは、数週間立つと、湿ったように変色してしまった。クエン酸は混ぜずに、別々に保管した方が良いと思う。</p> <p>すぐに飲むなら、柑橘系の果汁を加えても良いので、次回は和歌山産ミカン果汁やレモン果汁、ジャバラ果汁（和歌山県北山村原産のジャバラ：花粉症に効果あり）などを使ったオリジナル経口補水液作りにもチャレンジしてみたい。</p> <p>和歌山の名産である「梅」を使った「梅シロップ」と梅干しを作る過程で出来る「梅酢」を適量混ぜたら、イオン飲料みたいな味になるので、効能を調べてみたい。</p>	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	<p>脱水は命にかかわります。特に小さい子どもやお年寄り、脱水になりやすく本人が気づきにくいので、周りの人が気を付けてあげる必要があります。暑い夏は喉が渇くから飲む機会も多いけれど、冬は喉が渇きにくく、空気も乾燥しているので、寒い時でも脱水になりやすいです。みんなも注意して下さいね。</p> <p>阪神淡路大震災の時は、水分を取るとトイレに行きたくなってしまいうけれど、トイレが汚かったり、身体が不自由だったりしてトイレに行きたくないために、飲まずにいて脱水になり、肺炎や脳梗塞、心筋梗塞で亡くなった人が沢山いました。</p> <p>災害の時にはこんなこともあるんだということを知って、そうならないように「一緒にお茶を飲みましょう」と声をかけるボランティアをお願いします。</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 6 月 16 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (7)	
タイトル	認知症サポーター養成講座 ～誰もが過ごせる避難所を目指して～	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	0 円	
実践の準備にかかった時間	数十分 (予約と打ち合わせ)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 6 月 16 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 6 月 16 日 14 時 30 分	
実践の所要時間	1 時間	
実践の運営側で動いた人の人数	3 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)	
防災教育の対象者の人数	16 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	地域包括支援センターより講師派遣依頼 準備した物 スクリーン・プロジェクター	
達成目標	認知症について知る 認知症の人にどう声掛けしたり、どのように接すれば良いか分かる	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	地域包括支援センターの講師による進行 ・認知症って何だろう ・認知症の人はどのくらいいるのか ・認知症の人に対する、良くない接し方と良い接し方 ・認知症の方のお話	

		
<p>得られた成果</p>	<p>小学生の祖父母はまだ若く、核家族世帯が多いので、あまり認知症に対する知識がなかった様子 避難所でも気が付き、声をかけられるようになってくれればいいと思う (認知症養成講座を受講して認知症の方やその家族を支援するために正しい知識を身につけた方に渡される目印「オレンジリング」)</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>小学生向きに話してはくれたが、DVDは少し小学生には難しいように思った。パンフレットはわかりやすかった。</p>	
<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>		
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>住民生活課 地域包括支援センター</p>	
<p>関係者の説明</p>	<p>認知症サポーター養成講座</p>	
<p>関係者の連絡先</p>	<p>0739-47-0550</p>	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>		
<p>伝えたい相手</p>	<p>小学生</p>	
<p>伝えたい内容</p>	<p>(認知症サポーター小学生養成講座副読本より) 認知症は誰もがなる可能性のある脳の病気です。年を取るほど認知症になる可能性が高くなります。認知症の人は自分がおかしくなっていると感じ、誰よりも苦しんだり、悩んだり、悲しんだりしています。だから、周りの人が認知症の人の不安な気持ちを感じとったり、何に困っているかを見てとり、助けてあげることが大切です。優しく言葉をかけたり、手をかしたりする人が町中にいれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができます。私も認知症になるかもしれない。みんなのことを分からなくなってしまうかも知れないけれど、家が分からなくなってしまうたら「こっちだよ」って教えて欲しいし、今と同じように優しく声をかけてくれたら嬉しいです。</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 6 月 16 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (8)	
タイトル	シジミ貝でナザールボンジュウを作ろう ～和歌山県串本町とトルコの友情～ (和柄のキーホルダーも作ろう)	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	1000 円未満	
実践の準備にかかった時間	数時間 (シジミ貝を塗装と試作)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 6 月 16 日 14 時 30 分 ～西暦 2018 年 6 月 16 日 15 時 30 分	
実践の所要時間	1 時間	
実践の運営側で動いた人の人数	4 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	13 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	3月にトルコ記念館に行った人 トルコのエルトゥールル号と串本の関係についての知識 準備した物 青に塗装したシジミ貝・和柄布・木工用ボンド・メタリックヤーン・油性ペン白 (白は修正ペンでも可)・カラー油性ペン・爪楊枝・布切りハサミ・汚れ防止の古新聞	
達成目標	3月に行った串本「トルコ記念館」で見た「ナザールボンジュウ」を作りトルコと日本の友情について再確認する (和歌山ってスゴイ④…トルコと日本の友情は串本から始まった) (子どもエコクラブ④…リサイクル工作)	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>今年の3月に行った串本の「トルコ記念館」の話 串本のトルコの船「エルトゥールル号」の事故と、その後、トルコに日本が助けてもらった歴史を伝える（2月に参加していなかった子もいたため） 事前に青のスプレー塗料で、シジミ貝に色を付けておく（下塗りに白を塗るときれいに発色する） 1) キーホルダー用になるよう輪にしたメタリックヤーンを貝に挟み、貝をボンドを付けて閉じ、周囲にメタリックヤーンを木工用ボンドで貼る 2) 好みの「目」を書く 3) 塗装していない貝に木工用ボンドで和柄の布を貼り、同様にしてキーホルダーを作る</p>	
		
<p>得られた成果</p>	<p>串本で起きた過去の災害、トルコの人を助けた事、トルコの人に日本人が助けられた事を復習することができた。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>少し</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>和柄のキーホルダーは（和柄である必要はないので、どんな柄でも良い）貝が小さいと布を貼るのは3年生くらいの子どもには難しい様子 小さい方がかわいいと思ったが、アサリやハマグリくらいの大き目の貝</p>	

	で準備した方が良いかもしれない
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>「情けは人の為ならず」ということわざをしていますか？まちがえて「人に親切にして甘やかすのはその人の為にならない」という意味で使われることがありますが、本当の意味は違います。</p> <p>本当は「人に親切にしておけば、その相手の為になるばかりでなく、やがては良い報いとなって自分に戻ってくる」ということです。</p> <p>映画「海難 1980」で見たように、昔の串本の人がトルコ人を助けたことで、その後、日本人がトルコの人に助けられました。</p> <p>串本とエルトゥールル号だけの関係ではなく、日本とトルコの友情にもつながっています。</p> <p>皆さんも、そんな経験はありませんか？今はなくても、みんな優しいから、将来「良い報い」がきっとあると思います。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 6 月 30 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (9)	
タイトル	このつぎなにがおきるかな (国土交通省のカードゲーム使用)	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	1000 円未満	
実践の準備にかかった時間	数十分 (ダウンロードと印刷、プレイ方法の確認)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 6 月 30 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 6 月 30 日 14 時 00 分	
実践の所要時間	30 分	
実践の運営側で動いた人の人数	4 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)	
防災教育の対象者の人数	17 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 「このつぎなにがおきるかな」のカードの準備 ゲームの進め方の確認	
達成目標	雨、風、地震等の際の後に何に注意しなければならないのか分かる	
どの力を身につけようとしていましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	事前準備 (国土交通省のカードゲーム「このつぎなにがおきるかな」をダウンロードして、名刺サイズの紙に印刷しておく ・説明書にそってゲームを進める (ネットで検索できるので「説明書」を参照してください)	

			
得られた成果	子どもにもわかりやすく作られている		
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	少し	
	思考力・判断力・表現力	少し	
	学びに向かう力・人間性	少し	
課題・苦勞・工夫	<p>ここ数年繰り返し伝えている内容なので、上富田ふれあいルームの子ども達には少し簡単すぎるかもしれない</p> <p>時間不足のため 30 分で切り上げたが、1 時間程度あっても良かったと思う。</p>		
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ			
伝えたい相手	小学生		
伝えたい内容	<p>このあたりは「津波」は（いちおう）来ないと言われています。でも、地震は、必ずみんなが上富田にいる時に起こるとは限りません。旅行や用事で田辺や白浜に行くときに地震があれば、避難しなくてはならないかもしれませんね。</p> <p>水害は上富田町では小さな被害も含めれば毎年のように起きています。「前は大丈夫だったから今回も大丈夫」とは思わずに、台風や大雨の危険がある時には、テレビやインターネットで情報を集めて出来るだけ早めに安全な高台などに避難してほしいです。</p> <p>（水平避難）もし、避難が間に合わなくて、家の周りに水が来てしまったら、垂直避難といって家の中の出来るだけ高いところ（2 階など）に避難する方が良いかもしれませんが、水が自分の膝まできていたり、流れが速い時は水の中を歩いて避難するのは流される可能性があり、とても危険です。どうしても外に出る必要がある時は、水が浅くても、マンホールのフタが流されて穴があいていたり、溝が分からなくなっていることがあるので、棒で足元を確認しながら避難しましょう。</p> <p>靴は脱げにくい物を履いてください。</p>		

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 6 月 30 日 (2018 年度のチャレンジプラン)		
実践団体名	上富田ふれあいルーム		
実践番号 (チャレプラ (10)		
タイトル	クロスロード		
実践担当者のお名前	幾島浩恵		
実践にかかった金額	(クロスロード 3 種購入) 1 万円未満		
実践の準備にかかった時間	数時間 (使い方の確認・学習)		
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 6 月 30 日 14 時 00 分 ～西暦 2018 年 6 月 30 日 14 時 30 分		
実践の所要時間	30 分		
実践の運営側で動いた人の人数	4 人		
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生保護者/PTA・地域住民・社会人/一般		
防災教育の対象者の人数	17 人		
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町		
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館		
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	クロスロード的な様々な事態に対する考え方を周知している人 <table border="1" data-bbox="624 1294 778 1352"> <tr> <td>準備した物</td> </tr> </table> クロスロード		準備した物
準備した物			
達成目標	災害時 (のみならず) に、様々な立場、様々な考え方あることを知る		
どの力を身につけようとしていましたか?	知識・技能	かなり	
	思考力・判断力・表現力	かなり	
	学びに向かう力・人間性	かなり	
実践内容・方法	事前準備 (クロスロード購入、カードの準備) 1) 本来は一人ずつ○と×のカードを準備して進めるが、人数が多めだったことと、一人では決められないのではないかとと思われる子がいることを鑑みて、3～4 人のグループで 1 つの答えを出すようにしてみた		

<p>得られた成果</p>	<p>少ないグループの中でも意見が分かれたようで、一つの答えにするのが難しいようだった。</p> <p>カードを出した後、それぞれ、なぜそのカードにしたのかを発表してもらったが、子どもとは思えないような、各家庭それぞれの様々な意見が出てきて良かった。(私には小さい妹がいるからお風呂の水をためておくと溺れる可能性があるので危ないです) など</p> 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>次は、カードを多めに準備して、一人1組の○×カードを持たせてやってみたい。</p> <p>また、時間不足のため、30分で終了したが、まだ続けてやりたそうな子もいたので、1時間以上(すべてのカードをやろうと思えば、もっと時間が必要)やってみても良かった。</p>	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>		
<p>伝えたい相手</p>	<p>小学生</p>	
<p>伝えたい内容</p>	<p>同じ質問でも、いろいろな答えがあることが分かったと思います。</p> <p>それぞれの立場(病気である、赤ちゃんがいる、歩くことが出来ない、元気でなんでもできるなど)で答えが変わるのは仕方がないかもしれませんが、それでも、最終的には「自分ならこちらを選ぶ」という答えを出さなければなりません。○と×なのに、詳しく聞くと同じような答えになったり、勉強すればするほどわからなくなる、大人でも難しいゲームだけど、「自分がこうだったら」と置き換えて考えることが出来る良い機会になったと思います。</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 6 月 30 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (11)	
タイトル	ガラスのキャンドルスタンド (停電時に備えよう)	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	1000 円未満	
実践の準備にかかった時間	数十分 (試作製作、買い物)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 6 月 30 日 14 時 30 ～西暦 2018 年 6 月 30 日 15 時 30 分	
実践の所要時間	1 時間	
実践の運営側で動いた人の人数	4 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	17 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	<p>作り方</p> <p>準備した物</p> <p>ガラス瓶 (ジャムやサケフレークのビンなどあまり深くない物)・キャンドル・ペーパーナプキン・デコパージュ用紙・水のり・ラメのり・筆・ドライヤー・汚れ防止の古新聞</p>	
達成目標	<p>夏至のキャンドルナイトにも停電時にも使え、インテリアにもなるキャンドルスタンドを作る</p> <p>(子どもエコクラブ⑤…リサイクル工作)</p>	
どの力を身につけようとしていましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) ビンを逆さにして、水のりを約2倍に水で薄めた物を筆でたっぷり塗る 2) 手でペーパーナプキンをちぎってビンに貼っていく（2重になっている物は1枚はがして柄入りの方を使う） 3) ペーパーが浮いていたら、筆でのりを上から塗りながら、しっかり貼り付ける 4) ぎりぎりまで貼れたら、ドライヤーで底を乾かす 5) 乾いたら元の向きにして入口辺りまで（好みで）貼る 6) ドライヤーで完全に乾かして好みでラメのりを指で塗る 	
		
<p>得られた成果</p>	<p>色とりどりのキャンドルスタンドが出来上がり、また一つ災害への備えが出来たように思う</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>少し</p>
<p></p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
<p></p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<p>あまり厚く紙を重ねて貼らない方が、火を付けた時には明りがもれてきれいに見える。 ドライヤーをたくさん同時に使うとブレーカーが落ちることがあるので注意。</p>	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>		
<p>伝えたい相手</p>	<p>小学生</p>	
<p>伝えたい内容</p>	<p>当たり前にある電気が使えなくなる（ことが多い）のが災害です。 人は暗闇ではほとんど動くことが出来なくなります。（全盲の人にとつ</p>	

てはいつもと変わらず、私達の方が助けてもらう側になるかもしれませんね) 世界的に見ても日本は特に電気を浪費している国です。(夜の地球の写真を見ると、くっきりと日本の形が光って見えます)

この当たり前が当たり前でなくなった時にどうすれば良いか、今日、一つ備えが出来ましたね。でも、普段から、たとえば夏至の日に夕方1時間でもいいから電気もテレビも消してみても、キャンドルナイトを楽しんでみませんか。いつもとは違った家族との時間がすごせるかもしれませんよ。

地震の後は余震もあり、ガス漏れの可能性もあるのですぐに火を付けて明りにしようとするのは危険です。初めは懐中電灯の方が安心ですね。

火を使う時はくれぐれも、大人にちゃんと伝えて危険のないように準備してからにしてくださいね。

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 7 月 7 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (12)	
タイトル	夏だ！お化け屋敷で涼しくなろう (新聞&段ボールパーティー)	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	(持ち寄りで) ほぼ 0 円	
実践の準備にかかった時間	数十分 (材料をそろえる)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 7 月 7 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 7 月 7 日 15 時 30 分	
実践の所要時間	2 時間	
実践の運営側で動いた人の人数	4 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生	
防災教育の対象者の人数	19 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	様々なパーティーの作り方 準備した物 お化け仮装・段ボール・古新聞・ロープ・ヒートン・鉛筆・牛乳パック・セロテープ・ガムテープ・段ボールパーティーセット・ブラックライト・懐中電灯・お化け屋敷のイメージ CD とデッキ	
達成目標	様々な方法でパーティー (間仕切り) を作る方法を知る	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 広い一室をお化け屋敷にするにはどうすれば良いかをみんなで考える（通路が必要・隠れるところが必要など） 2) 避難所の間仕切りとしても使えると説明したうえで、①段ボールだけで仕切りを作る方法（折り方や切り込みを入れて立たせる方法 2 種）②段ボールを切りこみを入れた牛乳パックで立たせる方法③ひもと新聞紙で仕切る方法などを伝える 3) 通路とゴールを決め、ひもをヒートンや、鉛筆にくくりつけたものを窓に挟むなどして高めに張り、新聞紙を垂らすようにセロテープで取り付ける 4) 段ボールを使ってお化けが隠れる所を作る 5) 机やいすも利用して、大きな段ボールで仕切りを作る 6) 低学年の子が児童館に来ていたので、お客さんになってもらう 7) 通路の一番奥の机の上にあるマジックを持って帰ることがミッション 8) お化け屋敷の CD、ブラックライトをセットして暗幕で暗くし、懐中電灯だけでスタート 9) お化けには、「お客さんの身体には絶対触らないように脅かすこと」と注意しておく。
	

							
<p>得られた成果</p>	<p>「自分達でお化け屋敷をつくる」ということに、子ども達は目を輝かせていた。机やイスを利用して仕切りにしたり、それらを使って段ボールを立たせたり、何も言わなくても自主的にいろいろ作り上げていた 「避難所」＝「間仕切り」ではないが、必要な時、場所に設置することができるようになればいいと思う</p>						
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="475 1059 818 1104">知識・技能</td> <td data-bbox="834 1059 1417 1104">かなり</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 1104 818 1149">思考力・判断力・表現力</td> <td data-bbox="834 1104 1417 1149">かなり</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 1149 818 1216">学びに向かう力・人間性</td> <td data-bbox="834 1149 1417 1216">かなり</td> </tr> </table>	知識・技能	かなり	思考力・判断力・表現力	かなり	学びに向かう力・人間性	かなり
知識・技能	かなり						
思考力・判断力・表現力	かなり						
学びに向かう力・人間性	かなり						
<p>課題・苦労・工夫</p>	<p>一度の使用で壊すのがもったいないくらいみごとな「お化け屋敷」だった。 前回の同じ企画で、お化けの人数が多すぎたこともあって、ごった返し、お客さん（子ども）が手や足を引っ張られたと泣くことがあったことから今回ははじめに注意し、問題はなかった。 「お化け屋敷」が本格的過ぎて、怖がって入れない子もいた。特に、コワイ音楽の効果は絶大で、音を消すと入れる子もいた。</p>						
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>							
<p>伝えたい相手</p>	<p>小学生</p>						
<p>伝えたい内容</p>	<p>今回はお化けの隠れる所と通路を作るためにパーテーションを作りました。いろんな方法で、この教室が見事な迷路になりましたね。 避難所では、プライバシーを守るために仕切りが必要になります。 着替える時、オムツを代えるためや授乳する時、眠る時、トイレの時はもちろん、全く知らない人とずっとお互い丸見えの状態はしんどく</p>						

	<p>なってしまう。</p> <p>そんな時に今回の方法が役に立つかもしれません。</p> <p>でも、避難所だから必ず仕切りが必要なわけではありません。近所の人とはむしろ仕切りが無くいつでも顔が見える方が安心という地域もあります。仕切りは欲しいけれど、困った時に助けを求めたり、心配な時にちょっと覗けるように低い仕切りの方が安心という所もありました。</p> <p>その時にどうするのが、よりみんなにとって快適で安心なのかを考えてみて、必要なら今日やってみた方法で「しきり」を作ってくださいね。</p>
--	--

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 7 月 21 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (13)	
タイトル	ネットアート (野外炊飯の時に役立つ網をアートに飾ろう)	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	3000 円未満	
実践の準備にかかった時間	(本来は) 数時間 (買い物と見本製作のため)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 7 月 21 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 7 月 21 日 15 時 30 分	
実践の所要時間	2 時間	
実践の運営側で動いた人の人数	5 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	12 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	<p>作り方</p> <p>準備した物</p> <p>バーベキュー用網・ペーパーヤーン・針替わりの安全ピン・お花紙・折り紙・吊り下げ用ワイヤー</p>	
達成目標	普段はアートとして飾っておき、野外炊飯が必要になった時は飾りを燃やすことですぐに使用できる「網」を身近に準備する	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	<p>1) 河原でバーベキューするときに使う物は？ (肉・野菜・タレ・箸・皿・ tong・網・炭・火・石・(ビール：大人の意見)</p> <p>2) この中でなかったら困るものは？肉・火・(ビール：大人の意見)</p> <p>3) 網が無かったらどうやって肉を焼こう (アルミホイルに包んで焼く・焼いた石の上で焼くなど)</p> <p>4) バーベキューだけでなくお鍋で何かを作ろうと思った時も、網があ</p>	

	<p>ると鍋が安定する。なかったら出来ないワケではないけれど、あると便利</p> <p>5) 網をアートして身近な所にかざっておこう</p> <p>6) 飾りは燃える物で作り、いざという時には燃やす。ペーパーヤーンを安全ピンに結び付けて針替わりにして、好きなように飾っていく</p> <p>7) お花紙、折り紙も使用可。吊り下げる所だけワイヤー使用可</p>	
 		
<p>得られた成果</p>	<p>いつもながら子ども達のデザインのアイデアには感心させられる。ステキすぎて、いざという時に燃やせるだろうかと心配になった。「ふれあいは楽しい」と書いてくれた子もいて、嬉しかった。今年度の子供達とは「網」を使ったバーベキューをしたことが無いので、ぜひ、実施したい。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>少し</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>かなり</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>本来は野外のプログラムの予定だったが、天候不良のため、室内プログラムに急遽変更になったため、見本を作る時間がなかった。当日来てからの説明だったので、デザインを考えるのに時間がかかり、2時間では時間不足の様子だった。事前にこんな物を作るから考えておくように伝えた方がよかったと思う。</p>	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>		
<p>伝えたい相手</p>	<p>小学生</p>	
<p>伝えたい内容</p>	<p>カマドのない所で野外炊飯をしたことがありますか？（今はそういうことができる場所も少なくなりました）</p>	

私が以前、石を使ってかまどを作り、鍋を置こうと思ったら、なかなか水平にならなくて、不安定で難しかったです。もし、バーベキューなら網がないと困りますよね。

災害の時、外で火を焚いて暖を取ったり、調理をしたりすることがあります。網が身近にあれば便利だろうなあと考えて企画しました。

もし、河原などでかまどを作って野外炊飯をすることがあれば、「立つ鳥跡を濁さず」(立ち去る時は跡を見苦しくないようによく始末すべきである)のように、あらかじめ穴を掘っておいて炭や焦げた跡は埋めたりして、(ゴミはもちろん持ち帰る)後から来る人が気持ちよく過ごせるように配慮してから帰りましょう。もちろん、子どもだけで火を使ってはいけませんよ。

朝来児童館の花壇の枠に使っているブロックは、奥の2つは簡単に外れるようになっています。もし、ここでかまどを作らなければならなくなったら、それを使って作って下さい。自分の「ネットアート」を使うのがもったいなかったら、屋根裏にも予備の網があります。

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 7 月 25 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (14)
タイトル	お菓子でおかずを作ろう
実践担当者のお名前	幾島浩恵
実践にかかった金額	3000 円未満
実践の準備にかかった時間	数十分 (買い物・ほとんどぶっつけ本番)
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 7 月 25 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 7 月 25 日 15 時 30 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	(高校生 3 名含む) 8 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・ 地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	16 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	お菓子でおかずを作ったことのある経験者 準備した物 エプロン・三角巾・マスク・鍋・ボウル・箸・スプーン・めん棒・フライパン・カセットコンロとガス じゃがりこポテトサラダ (じゃがりこ・マヨネーズ・塩コショウ) うまい棒リゾット (うまい棒・ごはん) ベビースターそばめし (ベビースター・ごはん) かっぱえびせん簡単みそ汁 (かっぱえびせん・インスタントみそ汁) ポン菓子でおじや (ポン菓子・スープの素) うまい棒でなんちゃってコーンポタージュ (うまい棒 : コーン味・じゃがりこ・塩コショウ)

達成目標	お菓子は野菜や炭水化物でできている物が多いので、それを利用して本格的なおかずを作ることができる	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目「ベビースターそばめし」「じゃがりこポテトサラダ」「かっぱえびせん簡単みそ汁」を作る3つの班に分けて、作り方や写真を見せて、簡単に説明する。 ・それぞれ希望の班に分かれたら、作り方を回収する（ブーイングに対して、「災害時には手元に作り方はない！」と一喝！ ・子ども達の自由に作ってもらう ・出来上がったら、みんなで味見。それぞれの班にどうやってこれを作ったか説明してもらう。 ・2回目「うまい棒リゾット」「うまい棒でなんちゃってコーンポタージュ」「ポン菓子でおじゃ」 	
		

得られた成果	一番お菓子とは思えない本格的なおかずが出来たのは「じゃがりこポテトサラダ」これは弁当に入れてもわからないくらいの出来栄え。作り方も簡単で、参加した安全監理員（お母さま方）の食卓のメニューになったと思われる。不評だったのが、「ポン菓子でおじゃ」もともとの甘さと塩辛さで、例えるなら「どろどろの濡れせんべい」個人的には嫌いではなかったが、子ども達は「まずい」と言っていた。	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・作り方を回収したところが良かったと思う。手元にある物を利用して、「なんとかする」ことが出来た ・湯や熱を加えることで元々の水分を含んだ野菜に近くなる ・ベビースターに水を加えてふやかしてしまったり、コーンポタージュの水が多すぎてしゃびしゃびになったり、（じゃがりこを加えて何とかなった）少しくらいトラブルがある方が面白い。 	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	<p>みなさんが普段食べているお菓子を使って本格的なおかずが出来ましたね。お菓子の原材料を見ると（袋の裏）コーン、ジャガイモ、ご飯、小麦粉など、でんぷん質のものが多いです。これは普段普通にスープやサラダとして食べている物でもあるので、お菓子からおかずにする事が出来るのかもしれないね。</p> <p>作り方を見ずに作ったので、本当はもっと美味しかったのかもしれませんが、「作り方がなくても何とか」なったからさすがでしたね。</p> <p>災害時は「作り方」は無いでしょうし、みんなのお家でも、いつも作り方を見ておかずを作っているワケではないと思います。</p> <p>「何とかすることができる」これは災害時に限らずどんな時でも自分を守ってくれるスゴイチカラです。</p> <p>一番人気だった「じゃがりこポテトサラダ」はお弁当に一品足りないときは作ってみてはいかがですか？</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 7 月 28 日 (2018 年度のチャレンジプラン)		
実践団体名	上富田ふれあいルーム		
実践番号	チャレプラ (15)		
タイトル	出張減災教室 (地震体験車「ごりようくん」による地震体験・地震津浪についての基礎講座・L型金具等を用いた家具固定講座)		
実践担当者のお名前	幾島浩恵		
実践にかかった金額	5000 円未満		
実践の準備にかかった時間	数十分 (予約、打ち合わせ)		
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 7 月 28 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 7 月 28 日 15 時 30 分		
実践の所要時間	2 時間		
実践の運営側で動いた人の人数	4 人		
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)		
防災教育の対象者の人数	(一般参加者がいたので) 20 人		
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町		
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館		
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	出張減災教室 ・事前準備 (出張減災教室申し込み・広場の草刈り・地震体験車が入れるように役場の職員にポールをおろしてもらう) 後日、今日使い方を見せて頂いた L 型金具・ガラス飛散フィルム・踏ん張るくん・粘着・突っ張り棒等を実際に使用して家具を固定する予定。 <table border="1" data-bbox="624 1608 775 1659"> <tr> <td>準備した物</td> </tr> </table> ガラス飛散フィルム・踏ん張るくん・粘着・突っ張り棒		準備した物
準備した物			
達成目標	出張減災教室を受講することで、災害を疑似体験&備えるための知識を会得する。また、あっそ児童館の危険な所を知り、どうすれば良いかを考える (和歌山ってスゴイ⑤)		
どの力を身につけよ	知識・技能	かなり	

うとしましたか？	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	かなり
実践内容・方法	出張減災教室の講師による講義 (地震体験車「ごりようくん」による地震体験・地震津浪についての基礎講座・L型金具等を用いた家具固定講座)	
 		
得られた成果	<p>小学生を対象にと事前に伝えていたので、漫才のように楽しく教えてくれたのでわかりやすかった。</p> <p>いつもこの「出張減災教室」で基礎的な内容を教えてもらうことにしている。ふれあいルームでは毎回特化したテーマにそって進めるので、基礎知識の習得のために1年に1度は必要だと思う。</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦勞・工夫	<p>出張減災教室はほぼ毎年受講している。起震車はいつものことながら、怖がることなく、遊園地の乗り物のように感じている様子。(本当の地震はこんなに準備してから来てはくれない)</p> <p>家具固定講座は初めてだった。子どもには難しいかと思ったが、実際にすることはできなくても、1度でも見たことがあるかないかの差は大きいと思う。忘れないうちに、本物の家具固定器具を使用してロッカーなどを固定してみたい。</p>	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について		
関係者の名前・団体名	西川修司氏	

関係者の説明	出張減災教室担当
関係者の連絡先	和歌山県総務部危機管理局危機管理・消防課
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>今日は「出張減災教室」で基本的なことを勉強させていただきました。</p> <p>今回は初めて家具固定講座を勉強しましたが、まだ小学生のみんなでは、固定器具を買ったり取り付けたりするのは難しいと思いますが、お家の人に教えてあげることができますよね。上富田町ではこれらの家具転倒防止器具を買う時に、補助金を出してくれるので、役場にあらかじめ聞いてみることをおすすめします。専用の器具を買わなくても、タンスと天井の隙間に空の段ボールを詰めたり、タンスの手前にたたんだ段ボールを挟むことでも代用できます。</p> <p>今日準備した家具固定器具を使って、この児童館をより安全にしていきたいでしょう。</p> <p>起震車は今は「怖い」というより「おもしろい」かもしれません。</p> <p>ここでは安全な体制をとって、合図をしてから揺れが始まりますが、本当の地震は前触れもなくやってきます。体験施設での揺れはもっと本格的で、机の下にもぐっても脚は両手で持たないと、頭がぶつかるし、脚の上の方を持たないと揺れで浮いた隙間に手を挟まれることもあります。激しい揺れでは、「ダンゴ虫」のポーズをとるのも難しかったです。寝ている時だったら…、トイレにいる時だったら…、お風呂に入っている時だったら…など、家の中だけでなく、いろんな場所で地震にあった時の事を想像してみてください。その時にどうしようかと考えておくだけでも、いざという時にそのように体が動くと思います。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 8 月 18 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (16)	
タイトル	水害・風害用語ビンゴ	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	ほぼ 0 円	
実践の準備にかかった時間	数時間 (ビンゴの内容と、用語の説明をつくる)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 8 月 18 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 8 月 18 日 14 時 30 分	
実践の所要時間	1 時間	
実践の運営側で動いた人の人数	4 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	11 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 「水害・風害用語ビンゴ」用紙と説明 ビンゴ用、ちょっとしたプレゼント 土砂・洪水ハザードマップ	
達成目標	台風の被害が多い和歌山県で耳にすることはあっても、意味の分かりにくい「水害・風害用語」について知る	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビンゴ用紙を配る（みんな同じ物でよい） ・ビンゴのマス目ごとに挟みで切り離し、各自で好きなように並べ替えて、コピー用紙に張ってもらう（それぞれのビンゴ用紙ができる） ・ビンゴのマス目を切り離した物を箱に入れて1枚ずつ引く ・用語ごとに説明を加える ・ビンゴになった人からプレゼントを選べる（中身は見えないようにラッピングしておく） ・付近のハザードマップの確認 		
	<p>水害・風害 用語ビンゴ</p>		
	<p>降水量 (こうすいりょう)</p>	<p>洪水 (こうずい)</p>	<p>非常に激しい雨 (ひじょうにはげしいあめ)</p>
	<p>溢水 (いっすい) 越水 (えっすい)</p>	<p>アメダス</p>	<p>浸水 (しんすい) 冠水 (かんすい)</p>
	<p>風速 20 m/s (ふうそく 20メートルまいびょう)</p>	<p>風害 (ふうがい)</p>	<p>風速 (ふうそく)</p>
<p>得られた成果</p>	<p>「水害・風害用語」は、最近台風が続いたこともあり、テレビ等で耳にすることが多かったが、なんとなくしか分かっていない用語も多かったので、勉強にはなったと思われる。</p>		
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>	
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>	
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>	
<p>課題・苦労・工夫</p>	<p>小学生には難しい用語の説明は、あまり面白くはなかった様子（予想どおり）だが、プレゼントがあるので、最後まで付き合ってくれた。人数</p>		

	が少なく、大人にも参加してもらったが、大人の方が「降水量ってどうやって測るのか」など質問が多く出て、興味があった様子。
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>台風の度にテレビのニュースで聞く用語の意味が分かってきたと思います。予想はあくまでも予想だけれど、それにより、外出を控えるとか、避難の準備をするなどの対策をとることが出来ます。</p> <p>お家の人に「この風と雨はやばいよ。風速 20m っていったら、ビニールハウスが飛ぶくらいだよ。50 ミリの雨が長い間降ったら、ここらあたりは水に浸かるかもよ」って、今日勉強したことを教えてあげてくださいね。</p> <p>土砂・洪水ハザードマップも予想ですが、自分が住んでいる所がどんな災害に遭う可能性があるのかを知っておくと、備えや準備ができるんじゃないでしょうか？朝来児童館のあたりはとりあえず大丈夫みたいですが、「絶対に大丈夫」という意味ではないので、ちゃんと情報収集して気を付けてください。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 8 月 18 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (17)	
タイトル	やさしい日本語ってなあに? …子ども達にどう伝えたら伝わりやすいかを考えてもらう	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	ほぼ 0 円	
実践の準備にかかった時間	数十分 (「優しい日本語」の例文集め)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 8 月 18 日 14 時 30 分 ～西暦 2018 年 8 月 18 日 15 時 30 分	
実践の所要時間	1 時間	
実践の運営側で動いた人の人数	4 人	
防災教育の対象者の属性	・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・ 地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	11 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	「やさしい日本語」の掲載された中学 2 年生の国語の教科書 ネットで「やさしい日本語」の例文をさがしておく	
達成目標	やさしい日本語について知り、どのように言い換えれば、外国人に分か りやすく伝えられるかを練習する	
どの力を身につけよ うとしましたか?	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	かなり

<p>実践内容・方法</p>	<p>「やさしい日本語」は語彙を 2000 語に限定していることが特徴です。外国人が日本に 1 年ほど滞在して覚える単語数の目安で、日本人なら小学 3,4 年生までに習う表現です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>難しい日本語とやさしい日本語の違い</p> </div> <p>「恐れ入りますが、お名前をご記入いただけますか？」</p> <p>「ここにあなたの名前を書いてください」</p> <p>お願いしている内容はほぼ同じ。どちらがわかりやすいですか？</p> <p>「恐れる」って、普通はコワイって意味ですよ。 「記入」の意味が分からなかったら、そもそも何をすればいいのかが分からない。どんな日本語だったら分かるかを考えて言い換えて下さい。</p> <p>丁寧すぎる、難しい英語で話されたら、こちらもわからない。どんな英語だったらわかりやすいか？を考えてみて下さい</p> <p>「今朝」⇒「今日（きょう） 朝（あさ）」</p> <p>「危険」⇒「危（あぶ）ない」</p> <p>「確認する」⇒「よく 見（み）る」</p> <p>「警戒する」⇒「気（き）を つける」</p> <p>「余震」⇒「後（あと）で 来（く）る 地震（じしん）」</p> <p>「避難所」⇒「みんなが 逃（に）げる ところ」</p> <p>「津波」⇒「とても 高（たか）い 波（なみ）」など</p>	
<p>得られた成果</p>	<p>ふれあいルームに来る子ども達は、ちょうど小学 3 年生から 6 年生なので、「やさしい日本語」は身近で深く考え込まなくても、言い換えるのはそう難しくはない様子だった。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>少し</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>かなり</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<p>難しい言葉を知っている大人になるほどに、やさしく言い換えるのは難しくなるのかもしれない</p> <p>英語で話す中で、難しい英語をやさしい英語に言い換えてもらう機会があれば、なお「やさしい日本語」について理解が深まると思われる。</p> <p>中学 2 年生になった時に、今日のことを思い出してほしいと思う。</p>	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>外国人には英語で話さなければ伝わらないと思っているかもしれないけれど、外国語には英語だけでなく、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、フランス語などなど、現在、世界には 6900 ぐらいの言語があるとされています。たとえば、ネパールのような小さな国でも、120 以上の言語が存在しているし、パプア・ニューギニアには 840 以上の言語があるとされています。</p> <p>私達日本人のように、1 カ国語しか話さない人は、世界のなかでもわずか 30%しかいないそうです。</p> <p>世界中には英語を話せる人が一番多いけれど、もちろん話せない人もいますので、日本人としては、「やさしい日本語」を使うのが、私達にとっても一番簡単で、どこの国の人にとっても理解しやすいのかもしれないけれど、そんな時は、世界共通の限度、ジェスチャアで伝えましょう)</p> <p>「小学 3,4 年生までに習う表現」は、みんなにとっては最近習ったことですよね。私達大人に教えてほしいです。</p> <p>災害時に「やさしくない日本語」で外国の人に説明している大人がいたら、助けてあげて下さいね。</p> <p>教科書が変わらなければ、みんなが中学 2 年生になった時の国語の教科書に「やさしいにほんご」が載っているはずですよ。その時は、今よりも難しい日本語をたくさん知っていると思うけれど、今日のことをもう一度思い出してもらえたら嬉しいです。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 8 月 22 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (18)
タイトル	太陽光による火おこし体験 &山桃 (上富田町の木) &梅シロップかき氷
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	(すでに道具がそろっているため) ほぼ 0 円
実践の準備にかかった時間	なし (何度も実践しているので)
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 8 月 22 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 8 月 22 日 15 時 00 分
実践の所要時間	1.5 時間
実践の運営側で動いた人の人数	3 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	7 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	太陽光による火おこしの経験者 準備した物 ・アルミ缶 (モノによっては磨いても光らない物がある: アサヒは大丈夫)・金属磨き・ぼろ布・蚊取り線香・マッチ・黒油性ペン・虫眼鏡・懐中電灯の集光板・500ml 丸いペットボトル・太陽光でたばこに火を付ける器具) かき氷 (かき氷機・氷・シロップ 2 種 (山桃・梅シロップ)・練乳・ストロースプーン・カップ)

達成目標	火の大切さと扱い方 (注意する事)、マッチの使い方、太陽光でマッチに火を付けることができる。 和歌山の名産「梅シロップ」と上富田町の名産「やまももシロップ」で
------	--

	かき氷を楽しむ (和歌山ってスゴイ⑥…梅シロップと山桃シロップ) (子どもエコクラブ⑥…火おこし)	
どの力を身につけようとしたか?	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・室内にて、マッチの頭をマジックで黒く塗る (時間があれば、アルミ缶の底を金属磨きで顔が映るまで磨いて準備する) ・室内にて、太陽光を使った火おこしの実演 (着火はしない) ・野外にてマッチの使い方実演 ・水を入れたバケツの上でマッチを擦ってみる (体から遠ざかるようにマッチを擦り、火が付いたらすぐにマッチを水平にする) ・3つの班に分かれ、それぞれの道具を使用してマッチに火を付ける ①班…磨いたアルミ缶・懐中電灯の集光板・太陽光でたばこに火を付ける器具 ②班…丸い500mlペットボトル ③班…虫眼鏡 ・タイムキーパーで5分を限度にしながら、日陰で休憩して、ローテーションする ・火が消えたマッチは必ず水を入れたバケツに集め、危険のないように処理する 	
		

得られた成果	人類の発展は「火」を使いこなすことができるようになったからだと言われる。オール電化世代のこの子たちが成長した時に火を怖がったり、たき火が出来ないような大人にならないように、生きる力を持ってほしい。	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫	<p>毎回人気のある「火おこし」は、普段いかに身近に「火」を感じる事が少ないかの表れと思われる。</p> <p>以前、「子どもの日だ！燃えるファイヤー！」というタイトルで5月に行ったところ、太陽光が弱すぎて、着火が難しかったので、夏に実施したが、記録的猛暑の中で、炎天下での実施となるので熱中症になる恐れがあった。タイムキーパーを設け、5分で着火しなくとも日陰への移動を徹底することで、体調不良者を出すことなく終了した。</p> <p>ペットボトルで火を付けることが出来るということは、それをむやみに置いておくと火事になる可能性があるという事も伝えた。</p> <p>透明なポリ袋を丸くしてレンズのように着火する動画があり、試してみたが、うまくいかなかった。</p>	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	<p>私達オバちゃんが子どもの頃は、お風呂はまきを燃やして沸かしていました。ガスコンロの火で調理して、仏壇のろうそくや線香にマッチで火を付けることも普通にやっていました。今は、オール電化の家が増えて、家中で「火」を使うことがない家も多いと思います。</p> <p>災害で電気が使えなくなり、「火」で暖まったり、調理することになるかもしれません。「火」は扱い方を間違えると危険だけれど、大事で役に立つ物でもあります。</p> <p>くれぐれも、子どもだけで「火」を使ってはいけません。今日の続きをやって見たかったら、必ず大人に相談してからにしてください。でも、大きくなるごとに、どこかで「責任を持って火を使える自分」を目指してほしいと思います。</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 8 月 22 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (19)	
タイトル	初期消火のいろいろ (火に水をかけやすいものはどれ?)	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	(投てき水パック) 1000 円未満	
実践の準備にかかった時間	数十分	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 8 月 22 日 15 時 00 分 ～西暦 2018 年 8 月 22 日 15 時 30 分	
実践の所要時間	30 分	
実践の運営側で動いた人の人数	3 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	7 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	初期消火について 準備した物 牛乳パック・ボウル・ペットボトル・ポリ袋・投てき水パック・ゴミ箱・バケツ (燃やすもの・着火マン…使用せず)	
達成目標	火事を見つけた時にすべきこと、消せるかどうかを判断できるようになる	
どの力を身につけようとしたか?	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・火事を見つけた時にまずする事「火事だと叫ぶ」 ・消防に連絡する（119番） ・初期消火できる火かどうか見極める（火が天井に届いているかどうか一つの目安・届いていなければ初期消火できる可能性がある） ・消せる可能性のある火ならば、手元にある道具で初期消火を試みる（基本的には大人に任せましょう） ・煙を吸い込まないように、自分が避難できるように（火にとりかこまれないように）出口を必ず確保しておく ・野外で火元（バケツ）を指して放水してみる ・袋に入れた水を火元（バケツ）を指して投げてみる 	
		
<p>得られた成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボウルやバケツはまずまず水をかけやすいが、一度でほとんど水がなくなる ・牛乳パックは口を全部広げた方がかけやすい ・ポリ袋ごと投げるのは狙いを定めやすく、火元から離れていても届く（コントロールが必要） ・ペットボトルは最初は押しつぶして水を飛ばせるが、その後は放水が難しい ・投てき水パックは、少量ずつ放水できる（投げることもできる）ただし、事前に水を入れておかなければ、準備には時間がかかる。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>

課題・苦労・工夫	<p>風が強かったため、本物の火は使わず、バケツを目指して放水した。実際の火なら、熱さと怖さであまり近距離から放水は出来ないだろうし、水がかかったからといってもなかなか火は消えないことが実感できただろうと思われる。</p> <p>どの程度の火を使用するときに消防への連絡が必要なのか？</p> <p>水を飛ばして放水するよりも、水の入った袋を投げつける方が楽しんでいた様子。この方法でどの程度の消化能力があるのか試してみたい。</p> <p>消火器の使い方も学ぶ必要があると思った</p>
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>昔は人々の恐れるものとして「地震・雷・火事・おやじ」と言われていました。親父が怖いかどうかは家によるでしょうが、その他の「天災・人災」はやっぱり怖いと思います。</p> <p>「地震」は言うまでもなく、「雷」でも人が亡くなったり、火災が起きることもあります。</p> <p>「火事」はまだ火が小さいうち（目安は火が天井に届く前）に見つけることが出来れば、消せる可能性があります。決して消そうと無理をしてはいけません。周りの人に知らせることが出来れば、避難して命は守ることが出来ますね。</p> <p>大声コンテストで練習したことを思い出して、必要な時には大声を出すこと！</p> <p>「少量水による消火効果について」という資料によると、「放水口径が小さく、両手で圧迫して放水する容器が、少量水で有効に消化することが出来るそうです。「投てき水パック」はよくできていますね。</p> <p>阪神淡路大震災の時は、通電火災といって、電気が復旧した時に起きた火災でたくさんの方が亡くなりました。</p> <p>関東大震災でも火災で多くの方が亡くなりました。天災でなくても、毎日100件近くの火災が発生していると言われています。</p> <p>「火」を正しく、安全に使える大人になって下さい。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 8 月 24 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (20)	
タイトル	HUG&リアル HUG (はじめに HUG をしてから、避難所開設セットでそれぞれの役割を決めて問題进行处理する練習をする)	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	(Hug 購入代金) 1 万円未満	
実践の準備にかかった時間	数十分	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 8 月 24 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 8 月 24 日 15 時 30 分	
実践の所要時間	2 時間	
実践の運営側で動いた人の人数	3 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	7 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	Hug の使い方 準備した物 避難所 Hug (児童館の各部屋のサイズを測定して児童館オリジナルの避難所図面を製作・あっそ児童館避難所開設セット (衣装ケース・クリップボード・鉛筆・油性ペン・ジッパーファイル・バインダーとルーズリーフ・メジャー・ビニールテープ・名札・付せん・メモ帳・タックシール・腕章・各班が最初にすべき事)	
達成目標	「あっそ児童館オリジナル Hug」を体験した後、各班「食料・物資」「施設管理」「総務」「要配慮者支援」「情報・記録」「保険・医療・衛生」に分かれて、「あっそ児童館避難所」に避難してきた人をどの班に振り分け、どのように対処するかを検討する	
どの力を身につけよ	知識・技能	少し

うとしましたか？	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり
実践内容・方法	<p>・ Hug（避難所運営ゲーム）を実施</p> <p>・「あっそ児童館避難所開設セット」を担当者別に振り分ける</p> <p>腕章を付けて、クリップボードを持って、避難者への対応をする（実際はカードを使用）</p>	
		
得られた成果	<p>初めは普通の HUG で、課題を一人ずつ順番に解決していったが、「朝来児童館避難所開設セット」で担当を決めてからは、「この避難者はどの担当に任せるべきか」を考えながら進めていった。</p> <p>前回は HUG では悪ふざけをする子がいない。特に担当になると、責任感も加わり、一層真剣に考えている。</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦勞・工夫	<p>人数が多ければ、「避難所運営」と「避難者」に分けて実際に訓練してみたかったが、直前の台風の被害により、参加者が少なかったため、「HUG のカード」を使用した。</p> <p>「児童館オリジナルの避難所図面」を製作して使用したので、カードに書かれている避難者を実際の児童館のどこに入れてもらうかを具体的に考えることが出来た。</p> <p>「朝来児童館避難所開設セット」をどこに置いているのか、どんな物が</p>	

	備蓄してあるのかを見て、使ってもらうことが出来て良かった。
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>2回目の Hug でしたね。今回は直前に台風による水害があつて、参加者が少なく、安全監理員の中西さんの自宅が水に浸かりました。汚れてしまった所をキレイにして、いつもの生活が出来るようになるまでにだいぶかかりそうです。本当に大変です。</p> <p>この中に今回避難所となった朝来小学校に避難した人はいないようですが、ここ、「あっそ児童館」も避難所になる所です。</p> <p>今日、どこに何があり、まずどれを開けてどのように使うのかを知ってもらえて良かったです。ここに避難してくる大人は誰もこのことを知りません。誰にでも分かるようにしなくちゃいけないけれど、その準備が出来るまでは、皆さんが「一番あっそ児童館のことを良く知っている人」です。</p> <p>「ここは危険」と判断したら、ここに来る必要はありません。(水害の時は、高台にある朝来小学校の方が安全ですよね。みんなの家の方が高い所にあるなら、低い所には来ないように。土砂災害の可能性も考えて、安全な所に避難して下さい) でも、もし、君たちがここに避難することがあれば、頼りにしています。よろしくお願いします。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 9 月 1 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (21)	
タイトル	防災運動会 (今までのチャレプラを復習する運動会)	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	(今までに実施済みの為新たに購入した物はなし・おやつのみ) 1000 円未満	
実践の準備にかかった時間	数時間 (一通り復習)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 9 月 1 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 9 月 1 日 15 時 00 分	
実践の所要時間	1 時間半	
実践の運営側で動いた人の人数	3 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	7 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	防災運動会の種目を指導できる人 準備した物 ・新聞スリッパの徒競走 (古新聞) ・もやい結びの二人四脚レース (ロープ) ・三角巾で利き手を固定してエッグレース (三角巾・スプーン・ピンポン玉) ・物干し担架レース (物干しざお 2 本・毛布・10 キロ米) ・目隠しでおやつ (手ぬぐい・おやつ)	
達成目標	「新聞スリッパ」「もやい結び」「三角巾の使い方」「物干し担架の作り方」「目の見えない人に物の場所を伝える方法」の復習	
どの力を身につけようとしていましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり

<p>実践内容・方法</p>	<p>物干し担架レース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物干しざおと毛布で担架を作る（10キ口の米を乗せる：子供用の小さめの担架）…人をのせる場合、足の方向に進む <p>三角巾で利き手を固定してエッグレース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの利き手を三角巾で固定してから反対の手にスプーンを持たせ、ピンポン玉を乗せた人から走る。ピンポン玉が落ちたら、ペアが拾って乗せる。 <p>新聞スリッパの徒競走</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞スリッパは片足を作る練習をしてからスタート。もう一足を作れた人から履いて走る <p>もやい結びの二人四脚レース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もやい結びの練習をする。ペアの身体（腰あたり）を、それぞれがもやい結びでつなぐことができたペアから走る。 <p>目隠しでおやつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目隠しをして、ペアの相棒から指定された食べ物（クッキー・あめ・水の入ったコップなど）がどこにあるのか時計の針の位置になぞらえて教えてもらう。早く口に入れたペアが勝ち （チームごとにお菓子の置き場所を変えておくと、他のチームの声で動くことがなくて良い） <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>
----------------	--

得られた成果	参加者が少なかったため、「競争」にはならない競技も多かったが、その分じっくりと作り方を覚える時間があったように思う。 「もやい結び」は慣れると、素早く片手で出来るようになっていく。	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫	「あいサポーター研修」の時にも全盲の方に教えて頂いて「指定された食べ物がどこにあるのかを時計の針の位置になぞらえて教えてもらう」という事をやったが、今回は「競争」だったので、急いでコップの水をこぼすチームがあった。(被害を最小限にするために飲み物は水にしましょう)	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	今までにやった「防災教室」の復習になったのでしょうか？覚えたつもりでも結構忘れていたりします。覚えることも大事だけれど、「忘れてしまったけれどなんとかする」というのも、もっと大事だと思います。たとえ、今ここにある物が無くても、ある物で何とか出来る力を身につけてほしいです。	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 9 月 1 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (22)	
タイトル	ファーストムーブ…安全・安心への「最初の第一歩」	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	0 円	
実践の準備にかかった時間	数十分 (情報収取)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 9 月 1 日 15 時 00 分 ～西暦 2018 年 9 月 1 日 15 時 30 分	
実践の所要時間	30 分	
実践の運営側で動いた人の人数	3 人	
防災教育の対象者の属性	幼児/保育園児/幼稚園児・小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	7 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ファーストムーブについて説明できる人	
達成目標	危険が迫った時にすべきことがわかる	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	<p>・子供たちが避難時の心構えとして教わる「お・か・し・も」(押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない)</p> <p>「地震がきたらダンゴ虫」…頭を守って体を丸くするポーズ</p> <p>「津波がきたらチーターびゅーん」…とにかく早く、チーターのように早く逃げる</p> <p>「雷ピカッカめさん」…雷しゃがみと言われるポーズ (つま先を開いてかかとを付け、かかとを浮かしてしゃがむ。耳を抑えて音に備える (地面から足へ流れた電気をかかともう一度地面に流すようにする目</p>	

	<p>的がある)</p> <p>「火事だ大変ワニさん」…ワニの大きな口を手やハンカチで覆い、しゃべらずにワニのように姿勢を低くして煙を吸わないように避難する</p> <p>「ハチだチクチクなまけもの」…ハチの大群に遭遇したら、「ナマケモノ」のようにそろりと離れる。走って逃げるとハチを刺激して襲われることがある。黒いもの、香りの強いものに集まるので、頭を隠したり、ヘアスプレーや香料は使わないようにすることも有効</p>	
<p>得られた成果</p>	<p>「お・か・し・も」は学校で習うらしく、みんな知っていた。</p> <p>「地震がきたらダンゴ虫」は知っていても、その他はなじみがない（私が自作した物もあるのであたりまえ）火事で避難する時の姿勢、蜂に遭遇した時の逃げ方も、このあたりでは「地震」より遭う確率が高そうなので、覚えておいて欲しい。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<p>誰も知らなかったのが「雷しゃがみ」（亀に見えるかどうか…）</p> <p>しかしこの姿勢は、雷による感電から身を守るための理にかなっていない。日本で落雷による年間被害者数は約 20 名。そのうち死亡者は 13.8 人と多いので、ぜひ野外活動をする人は覚えておいて欲しい。</p> <p>しかしバランスが悪く、私には長時間は無理そう…</p>	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>		
<p>伝えたい相手</p>	<p>小学生</p>	

伝えたい内容	<p>「ファーストムーブ」というのは「こんなことに遭遇した時にはじめにどう動くか」ということで、小さい子どもにもわかりやすいように、動物などに例えたものが多いです。(その動物に似ているかどうかは別として…) 言葉で「こんなポーズをとる」と言うよりも、身体で覚えてしまうのが一番！という訳でとりあえずやってみましょう。</p> <p>「雷しゃがみ」は、誰が一番長くこの姿勢を保つことが出来るでしょうか？大人には難しそうですね。</p> <p>こうしてみると、地震や台風だけでなく、身のまわりに「危険な事」っていっぱいありますね。</p>
--------	---

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 9 月 8 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (23)
タイトル	乾物クッキング…熱を加えずに作ることができるもの
実践担当者のお名前	幾島浩恵
実践にかかった金額	3000 円未満
実践の準備にかかった時間	数時間 (試食・買い物)
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 9 月 8 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 9 月 8 日 15 時 00 分
実践の所要時間	1.5 時間
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性	・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	15 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	乾物クッキングの指導者 切り干しダイコンのマヨあえ 切干大根・ツナ缶・コーン・マヨネーズ・塩コショウ・ポリ袋 クスクスのリゾット風 クスクス・塩こぼ・トマトジュース ふのわらびもち風 麩・牛乳・砂糖・きな粉 その他準備した物

	ボウル・スプーン・箸・計量カップ・キッチンはさみ・紙皿と箸 ひじき、きくらげ、わかめ	
達成目標	災害時に電気、ガス（熱）、水が使えない中でも栄養バランスを考えた 食事を楽しむことができる (子どもエコクラブ⑦)	
どの力を身につけよ うとしましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	<p>「乾物」って何？…乾かした保存食 どんなものが思い浮かぶかな？冷蔵庫に入っていない乾燥した食品 例：ドライフルーツ・ナッツ・煮干し・とろろ昆布・サクラエビ・削り 節・わかめ・マッシュポテト・かんぴょう・干しシイタケ・ライスペー パーなど</p> <p>クスクスについて…小麦粉から作る粒錠の粉食。パスタの仲間であ フリカから中東にかけての地域から伝わり、ヨーロッパなど世界の広い地域 で食べられている</p> <p>切り干しダイコンのマヨあえ 切干大根はハサミで少し短くしておくとお食べやすい ポリ袋にツナ缶とコーンの缶詰を汁ごと入れて、切干大根を入れてよく 揉む 30分ほど置いて切干大根がふやけた ら、マヨネーズと塩コショウで味付け する</p> <p>クスクスのリゾット風 材料を全部混ぜて30分ほど置いてお くだけ</p> <p>ふのわらびもち風 麩を牛乳に浸す きな粉と砂糖を混ぜる 麩が柔らかくなったらきな粉をかけて 出来上がり</p>	



		
<p>得られた成果</p>	<p>「切干大根のマヨ和え」は、千切りダイコンは常温保存も可能で、水で戻すだけでもサラダのように食べることが出来る。コーンの缶詰に含まれている水分だけで戻り、これは普段のおかずとしても十分使えると思った。地元の作業所ではとてもおいしい「切干大根」を作っているのでリピーターになれば地元企業の活性化にもつながる。</p> <p>麩のわらびもち風はおかずとして使うものがおやつになるという意味では面白いと思う。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>少し</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>クスクスはパスタの仲間なのに、茹でずに食べることが出来ると知って驚いた。トマトジュースと塩こぶと言う異表を突いた相性もまずまずだったが、このあたりでは「クスクス」が手に入らず、送料を含むと、高い買い物となった。また、初めて口にした子ばかりで、茹でる食べ方を知らないままの試食では美味しさの比較が出来ないと思う。また、普段から食べ慣れた物ではないので、災害時の備蓄としてはいかなものかと思う。</p> <p>茹でて食べると、はっきり言って茹でた方が美味しい。</p> <p>同じ仲間の「パスタ」を金づちでたたいて砕き（なかなか砕けず苦勞した）同じようにしてみたが、全く柔らかくならず、不味い。どこが違うのだろうか？</p> <p>「ひじき、きくらげ、わかめ」は、水でもどして大人だけで試食してみ</p>	

	た。(そのまま食べられるという記述と熱を通してからという記述とどちらもあったので大人のみ限定した) 塩コショウ、マヨネーズがあれば、美味しく食べられる。
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>家で乾物を見たことがありますか？冷蔵庫ではないところに置いてあると思います。カラカラ、パサパサでそのままでは美味しそうに見えないけれど、今日はいろんな組み合わせでいろんなおかずを作ることが出来ましたね。</p> <p>冷蔵庫に入れなくてもいいので、非常用の保存食としても優れています。今日使った切干大根は、地元の作業所で作られたものです。これを買うことは、地産地消にもつながりますね。</p> <p>クスクスは誰も食べたことがなかったので、この味が普通なのかどうかわかりにくくてごめんなさい。もっと身近にある乾物でやってみるべきでした。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 9 月 8 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (24)	
タイトル	乾物を作ろう	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	1000 円未満	
実践の準備にかかった時間	数十分 (試作・買い物)	
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 9 月 8 日 15 時 00 分 ～西暦 2018 年 9 月 8 日 15 時 30 分	
実践の所要時間	30 分	
実践の運営側で動いた人の人数	5 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	15 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	乾物を作ったことがある人 準備した物 リンゴ・ニンジン・きゅうり・塩・丸箸・ザル・ボウル・まな板・包丁・ドライヤー・洗濯ばさみ付きのハンガー	
達成目標	食品保存の方法のひとつである乾物を作る (子どもエコクラブ⑧)	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>「リンゴ・ニンジン」は出来るだけ薄切りにしてザルにかさならないように並べ、(本来なら天日に干す) ドライヤーで乾燥させる(雷干し) …らせん状に切り、塩水につけてから干したもの</p> <p>「きゅうり」を横半分に切り、中心に丸箸をゆっくり左右に小刻みに回しながら奥まで刺す</p> <p>まな板に乗せたきゅうりを回しながら 5mm～1cm幅でらせん状に切る</p> <p>塩水に約 20 分つけた後、数時間干す</p>	
		
	<p>他のおススメ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイコンのジャバラ切り…乾きにくいので冬にした方がいい ・果物では「キウイ」や「バナナ」 	
<p>得られた成果</p>	<p>お店で購入した「乾物」ではなく、自分で作ってもらうことで、「乾物」が身近な物に感じられたと思う。干すことで栄養価が高まり、味が濃くなるものも多く、それを実際に食べてみることで、それぞれの家庭での食材にももっと使ってほしい。</p> <p>冷蔵庫や缶詰のない時代の方がどのように食料を保存していたのかを学ぶことが出来た。。</p> <p>ニンジン乾燥させると甘くなる</p> <p>リンゴはあっという間に無くなった。</p> <p>きゅうりは乾燥していなかったが、美味しく食べられた</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>

課題・苦労・工夫	きゅうりの切り方が面白いが、箸を刺すと割れることもあった。この日の天気は雨。中止にしようかと思ったが、「乾物クッキング」と合わせて行いたかったので決行。裏ワザというか、ドライヤーを使って乾燥させるという、「子どもエコクラブ」としては、全くもってよろしくない活動となってしまった。
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>冷蔵庫のない昔は、食べ物を保存するためのひとつの方法として、今回のように「乾燥」させていました。災害時に電気が使えなくなった時に、今回のように乾燥させることで、大事な食糧を少しでも多く、長く保存できたら安心ですね。(ドライヤーは使えませんよ) 乾燥させることで、シイタケなどは栄養分が増えるし、食べてみて分かったと思うけれど、味も濃く、美味しくなるものもあります。いろいろ試してみるのも面白いかもしれませんね。ごはんを干したものは「干し飯(ほしいい)」と言って、忍者や武士の携行保存食だったらしいです。ちなみに私は「生のジャガイモ」を干してみたら、真っ黒になり、そういえば、ジャガイモを日光に当てると「ソラニン」という毒ができてしまうんですね。(ジャガイモの芽や緑色になっている所は食べてはいけないって知っていますよね) そういうこともあるので気を付けて。おじいちゃんやおばあちゃんに教えてもらうのも良いですね。</p> <p>非常食の保存の方法として、「ローリングストック」というやり方があります。日常的に非常食を食べ、食べたらいきなり買い足して常に新しい非常食が家庭に備蓄されていく、「食べながら備蓄する」方法です。点検を兼ねて時々食べる日を作れば、賞味期限が過ぎてしまうことも少なくなりますね。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018年10月6日(2018年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ(25)	
タイトル	カワイイ&かっこイイ アートだね!! オリジナル防災グッズ	
実践担当者のお名前	中西美穂	
実践にかかった金額	ほぼ0円	
実践の準備にかかった時間	数十分	
実践活動を実施した日時	西暦2018年10月6日13時30分 ～西暦2018年10月6日15時30分	
実践の所要時間	2時間	
実践の運営側で動いた人の人数	4人	
防災教育の対象者の属性	小学生(低学年)・小学生(高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	約13人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	朝来児童館	
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新聞スリッパの作り方 準備した物 新聞・カラーマジック・折り紙他飾りになるもの	
達成目標	新聞でスリッパを作ることによって役に立つだけでなく、自分なりのデザインをして楽しむ (子どもエコクラブ⑨…リサイクル工作)	
どの力を身につけようとしたか?	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

実践内容・方法	<p>新聞スリッパの作り方 スリッパを好みにデザインする</p> 	
得られた成果	<p>今までとは違うスリッパの作り方を知り、オリジナルにデザインする楽しみを得た</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫	<p>スリッパには何種類か折り方があるので、自分に合った物を作れば良いが、覚えるのが大変</p>	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	<p>今までにも「新聞スリッパ」は作りましたが、今回はもっとカワイイスリッパを作りたいと思います。災害時には「足を守ること」が大事だけれど、使うのが嬉しくなるくらいおしゃれだと、より楽しいですよ。今日は世界で一つだけの自分の新聞スリッパを作って下さい。</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 10 月 21 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (26)
タイトル	上富田町防災訓練参加 (SOS シート実験)
実践担当者のお名前	幾島浩恵
実践にかかった金額	(SOSシートは製作済みだったので、ゴミ袋のみ購入)1000円未満円
実践の準備にかかった時間	数時間 (SOSシートは製作済みだったので、打ち合わせと買い物のみ)
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 10 月 21 日 9 時 20 分 ～西暦 2018 年 10 月 21 日 11 時 30 分
実践の所要時間	約 2 時間 (子ども達) 約 3 時間 (幾島…はじめてから参加)
実践の運営側で動いた人の人数	(高校生 1 人含む) 4 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生保護者/PTA・地域住民・社会人/一般・防災関係者
防災教育の対象者の人数	7 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	熊野高等学校校庭
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	SOSシートを訓練で使用できるよう、事前打ち合わせ (設置場所・時間・必要物品 (土嚢)・レインコート製作指導する場所と参加者へのお知らせ) 準備した物 SOSシート・ペグ・(土嚢は借りる)・金づち・ビニールテープ レインコート用ゴミ袋 (45ℓ)・飾り用シール・油性マジック・汚れ防止古新聞・セロテープ・ハサミ等)

<p>達成目標</p>	<p>昨年度製作した SOS シートが実際に役に立つかの検証（昨年度の防災訓練は台風の為中止となった）</p> <p>退屈そうにしている子連れ参加者に「ゴミ袋のレインコート製作」指導をして、楽しみながら災害に役立つ物を作って過ごしてもらおう。</p> <p>（和歌山ってスゴイ⑦）</p>	
<p>どの力を身につけようとしたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>かなり</p>
<p>実践内容・方法</p>	<p>SOS シート実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部から「避難者数・要配慮者数・必要物品」を直前に聞き、「88」となっているビニールテープをはがして、「今日の日付」「避難者数」とそのうちの「要配慮者数」の数字にする ・ピクトグラムを選んで配置、ビニールテープで固定 ・ペグと土嚢でシートを固定する（土嚢が見当たらず） ・防災ヘリとドローンに気づいてもらえるよう手を振って合図をする 	
		
	<p>子ども達がゴミ袋のレインコート製作の指導をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部横のテント下で、「ゴミ袋のレインコートづくり」の指導を、子ども達と一緒にを行う。 ・暑い日だったので、新聞の帽子も作ってプレゼント 	

							
<p>得られた成果</p>	<p>昨年中止となって実施できなかった「SOS シート」をやっと試すことが出来た。子ども達は自主的に動いていた。</p> <p>子連れで参加される方は少ない。せっかく連れてきてくれても結局訓練には参加できず、子どもも退屈そうにしている姿を何度も見てきたので、今回は子どもにも楽しめる「防災グッズ作り」をふれあいの子ども達が指導するブースを準備して頂いた。</p> <p>日差しの強い暑い日だったが、テントだったので過ごしやすい、「ゴミ袋のレインコート作り」には、大人もたくさん参加してくれた。古新聞で帽子も作った。(熱中症予防)</p> <p>このように子どもでも楽しめる訓練であれば、もっと多くの子連れ参加も期待できる。子どもがこちらで体験している間に大人は大人の訓練に参加できる。子どもの頃に参加した子は大人になっても参加してくれると思う。(大人と元気な高齢者だけの訓練はあまり意味がないと思っている) 今までの訓練のあり方を少しずつ変えていきたいと思う。</p>						
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="467 1552 818 1597">知識・技能</td> <td data-bbox="826 1552 1420 1597">かなり</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1608 818 1653">思考力・判断力・表現力</td> <td data-bbox="826 1608 1420 1653">かなり</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1664 818 1709">学びに向かう力・人間性</td> <td data-bbox="826 1664 1420 1709">かなり</td> </tr> </table>	知識・技能	かなり	思考力・判断力・表現力	かなり	学びに向かう力・人間性	かなり
知識・技能	かなり						
思考力・判断力・表現力	かなり						
学びに向かう力・人間性	かなり						
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>担当者が代わっていたことと(引き継ぎはしてくれていた)今年度初めてドローンを使用した訓練をすることで忙しかったのか、指定された「SOS シート設置エリア」に土囊が見当たらず、確認の電話もつながらず、防災ヘリが来てしまったのであわてて設置した。(ペグで固定したが、地面が硬く時間がかかった)</p>						

	<p>ヘリから見えるように手をふったり合図をしたが、結果は、ヘリからの映像はとても遠くて文字もピクトグラムも全く見えず、事前に「どこに設置する」という取り決めが無ければ、このくらいのサイズのシートでは役に立たないことが分かった。</p> <p>ドローンからの映像はまだのため、今後の結果に期待する。</p>
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	上富田町役場
関係者の説明	上富田町防災訓練主催
関係者の連絡先	0739-47-0050
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>昨年中止となって実施できなかった「SOSシート」をやっと試すことが出来ました。今日は参加してくれてありがとう（児童2名参加）防災ヘリやドローンに情報が伝わったかどうかは今後の結果待ちですが、うまくいったにしろ、うまくいかなかったにしろ、試すことが出来たことが良かったと思います。</p> <p>子連れで参加される方が年々減ってきているように思います。来ても、子どもができることがなく、退屈してしまうからです。</p> <p>ゴミ袋のレインコートは、何度も作っているので、小さなお子さんに教えるのも上手でしたね。ここで楽しくて役立つ体験が出来れば、大きくなってもまた参加しようと思ってくれるのではないのでしょうか？</p> <p>元気な大人だけの訓練は、本当の災害の時にはあまり役に立たないと思います。実際には障がいやけが人や病気の人、小さい子供やお年寄りも避難して来られるからです。（Hugをやっているからわかりますよね）この訓練にもっとそんな人も普通に参加してもらえるようになってほしい。そのための大きな一歩だったと思います。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 11 月 10 日(2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (27)
タイトル	芋ほり 「かまどベンチで焼き芋」に向けて
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	0 円
実践の準備にかかった時間	なし
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 11 月 10 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 11 月 10 日 14 時 30 分
実践の所要時間	1 時間
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性	幼児/保育園児/幼稚園児・小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	14 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	(出来れば) 芋ほりの経験者 準備した物 シャベル・軍手・鎌・ハサミ・バケツ

達成目標	食べ物を自分で植えて収穫することの楽しみ 「サツマイモ」について イモ以外にも食べられる所があるということを知る (子どもエコクラブ⑩)	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>植えてから今までの間のお世話について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチング ・水やり ・草刈り ・追肥 <p>収穫の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌でツルを取り除く ・ツルの付け根をひっぱりながらシャベルで掘る <p>食べられるツル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツルの皮も向いて水に晒し、煮漬けると食べられる 	
<p>得られた成果</p>	<p>4月に自分達で植えたサツマイモを収穫するだけでなく、収穫の方法を知り、今までにお世話してくれた人への感謝、サツマイモが飢饉の時に果たしてきた役割、ツルも食べることが出来る、収穫してからしばらく寝かしておくことで甘味が増すなど、様々な情報を体験と併に得ることができた。</p>	
		
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>少し</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>サツマイモは驚くほどたくさん収穫できたが、同時に植えた「ひょうたん」は続いた台風により、5つのみで、更にかびさせてしまったので、今年度「岡老人会」(ひょうたん工作)の方々との交流が中止となってしまった。</p>	

	植えつけと収穫は子ども達に体験させてやれたが、途中の世話は結局大人がすることになってしまい、「育てる大変さ」は実感できていないと思われる。
--	---

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	幾島崇さん 和歌山県立南部高等学校
関係者の説明	高校教諭（農業担当）
関係者の連絡先	0739-72-2056

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>みんなで春に植えたサツマイモが、たくさん収穫できましたね。植えた時は根っこもなかったのに、あんなにたくさんイモが出来ていて不思議ですね。この約半年、水をやってくれた先生、草むしりをしてくれた人、必要な時に肥料をやってくれた人、他にも、病気になっていないか様子を見たり、食べ物を作るのは、ほったらかしではできません。だから、どんな食べ物も、それを育ててくれた人がいることを考えて有難く残さないように頂いて欲しいです。</p> <p>サツマイモは、痩せた土地（肥料分の少ない土地）でも育てやすく、昔から飢饉のときにも重宝されてきました。収穫してから、少しの間置いた方が、甘味が強くなります。保存もできるけれど、寒さに弱いので、新聞などにくるんで直接冷たい空気に当たらないようにして保存してください。</p> <p>2週間後にこれを使って焼き芋を作ります。今までに交流のあった方々も招待する予定です。楽しみにしててください。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 11 月 10 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (28)
タイトル	車椅子で出かけよう
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	0 円
実践の準備にかかった時間	数十分 (車椅子レンタル)
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 11 月 10 日 14 時 30 分 ～西暦 2018 年 11 月 10 日 15 時 00 分
実践の所要時間	30 分
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	14 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	車椅子の使い方を周知している人 準備した物 車椅子 2 台

達成目標	車椅子の使い方、介助方法を知ること、要配慮者・避難行動要支援者を手助けすることが出来るようになる	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>2グループに分かれて児童館の周囲を車椅子で自走する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の部分の名前と使い方の説明 ・必ずブレーキをかけて、フットレスト（フットサポート）を上げた状態で乗り降りする ・乗っている人に手伝いを求められない限りは手を出さない。ただし、上り坂や下り坂ではグリップ（握り）に手をかけて、後ろに下がった時やスピードがでてしまった時には止められるように備える。 ・急なのぼりや下り（下りは後ろ向きに進むこと）は介助する ・段差（のぼり）はグリップを押し下げながらティッピングレバーを片足で踏み、キャスト（前輪）を段差の上に乗せてから後輪を押し上げる ・段差（下り）は車イスをうしろ向きにし、後輪をおろし、ティッピングレバーを踏んでキャストを浮かせた状態にしてゆっくり後方に下がり段差に足がぶつからないかを確認したうえでキャストを静かにおろす <p>車椅子を介助で階段を昇降する方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できれば3人以上で介助（やり方の説明のみ） ・坂道と同じで、上りは車椅子に乗っている人の足の方向に進み、下りは後ろ向きに進む ・3人の場合車椅子の、両グリップ、右側、左側を持つが、車椅子によっては外れるところがあるので、確認して、外れる可能性のある所は絶対に持たない。（特にアームサポートは持ちやすいが外れるので持たない） ・必ず車椅子に乗っている人に声をかけてから、持ち上げる。 
----------------	---

<p>得られた成果</p>	<p>車椅子の使い方(自走・介助)、児童館の周囲を実際に車椅子で動いてみることで、どこにバリアがあるのかを知り、どのように手伝えれば良いかを知った。</p> <p>階段等で車椅子を持ち上げて運ぶ時の方法について学んだ。(子ども達は実際には体験していない)</p> <p>ほんの少しの坂道でも自分の力で車椅子で上るのは難しい。また、下り坂はスピードが出て止まりにくく怖いことが分かった。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<p>注意しても、フットレストに足を置いたまま立ち上がろうとする子がいるので気を付ける</p> <p>今までは、児童館の中だけでの車椅子体験だったので、長い坂道や階段がなかった。今回児童館の周りのバリアに付いて知ること、お付き合いのある「牟婁さくら園（身体障害者の施設）」の入居者さんと避難することになる時に、少しでも役立つのではないかとと思われる。</p>	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>小学生</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>今までにも、児童館の中で車椅子を使ってもらったことはありましたが、今日はどうでしたか？緩やかでも上り坂や下り坂は進むのが難しかったと思います。普段は気が付きにくくても、今日、どこにどんな坂や段差があるかを知ることが出来ました。</p> <p>もし、「牟婁さくら園」の入所者さんと高台に避難することがあるなら、今日練習したことが役立つかもしれませんね。</p> <p>車椅子に乗っていると、目線が低くて遠くが見えませんが、話をするときには自分もしゃがんで目線をそろえた方が話しやすいですね。</p> <p>坂道を下る時など、人に後ろ向きで動かしてもらうのは怖かったと思います。</p> <p>お手伝いする時には、乗っている人の気持ちも考えて、必ず声をかけてから手伝ってあげられるようになってほしいです。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 11 月 10 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (29)
タイトル	熊野の神の使い「八咫鳥」に平安衣装を着せよう
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	(折り紙代) 1000 円未満
実践の準備にかかった時間	数十分 (構想と試作)
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 11 月 10 日 15 時 00 分 ～西暦 2018 年 11 月 10 日 15 時 30 分
実践の所要時間	30 分
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・ 地域住民・社会人/一般・高齢者
防災教育の対象者の人数	14 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	ヤタガラスを製作してくれる人 ヤタガラスに着物を着せられる人 準備した物 折り紙、木工用ボンド・両面テープ・ティッシュペーパー

達成目標	以前から交流のある「シニアホーム鯨洋」の入居者さんが製作されたヤタガラスに平安衣装を着せるお手伝いをすることで、車椅子を使っている人が災害時にどんなことに不安を感じているかを思い起こす (和歌山ってスゴイ⑧…ヤタガラス) (子どもエコクラブ⑩…リサイクル工作)	
どの力を身につけよう としましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>あらかじめ製作してくれている「ヤタガラス」に折り紙で「平安衣装」を着せる</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>得られた成果</p>	<p>この活動は「防災」ではないかもしれない。昨年の夏に施設訪問させて頂いた時、入居者さまが作って下さった「張子の八咫鳥」を一緒に飾り付けした。その際に、障害のある人が災害時に困ることを直接教えて頂いた。今回は4度目の交流になる(直接ではないが)入居者さまが作られた小さい八咫鳥に平安衣装を着せるお手伝いをして、それを熊野本宮大社で配布してもらおう。何等かの交流を続けることで、障害のある人への配慮につながると期待している。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>少し</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>本当は直接交流したいが、手間と安全面を考えると難しい 今後、熊野本宮大社でこのヤタガラスを無料配布する予定だけれど、そちらへの参加は出来なかった。 次回、可能なら一緒に配布できたら、「自分達が手掛けたヤタガラス」で一緒に喜びを分かち合えると思う。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>児野和徳さん 「ヤタガラスプロジェクト」代表</p>
<p>関係者の説明</p>	<p>シニアホーム鯨洋作業療法士</p>

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>今までに、「動物の張子」「干支（酉）の張子」「ヤタガラスの張子」を頂戴した「シニアホーム鯨洋」の入居者さんたちが、今度は、本宮大社 2050 年記念のイベント「ヤタガラスプロジェクト」に参加して 100 羽の「ミニヤタガラス」を作られました。</p> <p>「シニアホーム鯨洋」に訪問させて頂いた時、車椅子の方が「災害時に困る事」として、どんなことをおっしゃっていたか覚えていますか？</p> <p>「車椅子で避難できるかどうか」「トイレに行くことが出来るか心配」と言われていましたね。みなさんは、今までに、「車椅子のお手伝い方法」や「トイレやおむつの作り方」を勉強しているので、困っている人に合った時はぜひ、お手伝いしてあげてください。</p> <p>今回は、「シニアホーム鯨洋」のみなさんが作った張子に衣装を着せるお手伝いをします。</p> <p>熊野本宮大社で参拝客に無償でお配りする予定です。いつかそちらにも参加して、もう一度「シニアホーム鯨洋」の皆さんと逢えたらいいですね</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 11 月 24 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (30)
タイトル	太陽光以外の火おこし
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	(火おこしセットは購入済みの為消耗品のみ) 1000 円未満
実践の準備にかかった時間	数十分
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 11 月 24 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 11 月 24 日 14 時 30 分
実践の所要時間	1 時間
実践の運営側で動いた人の人数	7 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般・防災関係者
防災教育の対象者の人数	22 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館校庭
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 紐切り式火おこし機・舞切り式火おこし機・スチールウールとアルカリ電池 3 本 (単 1 か単 3)・スチールウールと 9V 電池・ファイヤースターター各種・火打石・火口用麻ひも・火口用消し炭・シーチキンの空き缶・ストロー (火吹き棒)・軍手・バケツと水

達成目標	太陽光を使わないで火起こしができる (子どもエコクラブ⑫)	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	かなり

<p>実践内容・方法</p>	<p>紐切り式火おこし・舞切り式火おこし 火起こしの使い方説明書にそって行う</p>  <p>スチールウールとアルカリ電池3本・スチールウールと9V電池 アルカリ電池3本（単1か単3）をガムテープで一列につなぐ（+と-が接合するようにつなぐ） 細いスチールウールを細長くして、電池の+の方に先に当て、-側にチョンと触れるとスチールウールがチリチリと燃え始める あらかじめスチールウールとティッシュペーパーを混ぜておくと、そのまま炎となる。燃えているスチールウールを火口に移して炎にすることもできる</p> 
----------------	---

	<p>ファイヤースターター・火打ち石</p> <p>使い方説明書に沿って行う</p> <p>火花を火口に落とすと消し炭に燃え移るので、ストローを使って空気を送り、炎にする</p> 	
<p>得られた成果</p>	<p>夏に、太陽光を使用した火おこしを実施したので、今回はそれ以外の方法で着火する。「紐切り」「舞切り」は、子どもの力では煙が出るくらいまでだったが、大人が十分な火だねを作って火口に移すことで着火した。スチールウールと電地を使った方法では全員が火口とストロー（火吹き棒）を使って炎にすることができた。スチールウールにティッシュを混ぜておくとすぐに炎があがる。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>かなり</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<p>火おこしは人気があり、(それだけ火を扱う機会が少なくなっているという事だろう)参加者が多い。諦める子はほとんど無く、一生懸命に取り組んでいる。人数に応じた資材の準備、管理する大人の確保が必要(目の届かない所で火を扱うことがないように)</p> <p>1時間では時間不足である。今回はあらかじめ準備した火口や消し炭を使ってもらったが、時間があれば、それらを作る所から始めたい。</p> <p>火を扱うので、軍手を使わせたが、スチールウールは軍手に絡みつくことがあり、かえって危険。</p>	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>前回の「太陽光を利用した火おこし」とは違って、一度は見たことがある「木をすりあわせて火を作る」「火打ち石で火をつくる」と「電池とスチールウールで火を作る」ことを体験しました。</p> <p>マッチやチャッカマンでは簡単に火が着くけれど、火種から火を作るのはなかなか難しいものだと思います。昔の人や原始人はすごいですね。</p> <p>木をすりあわせるだけでは火は出来ず、麻ひもをほぐしたものと、消し炭をセットにした「火口」が必要です。</p> <p>火打ち石は実は、石が燃えているのではなくて、「火打ち鎌」と言われる「鉄」の部分が燃えているのです。だから、石と石をいくら打ち付けても火花はでません。薄くて削れやすい鉄、たとえば「金やすり」とか「鎌」でもがんばれば火花が飛ばせます。</p> <p>電池とスチールウールは簡単でしたね。逆を言えば、電池のそばに金属を一緒にしておくと危険かもしれません。</p> <p>全部成功するまでやってみたかったのですが、時間が足りなくて残念でしたね。</p> <p>どの火おこしにしても、絶対に子どもだけではやらないように。火事にならないようにお願いします。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 11 月 24 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (31)
タイトル	かまどベンチ体験&焼き芋
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	1000 円未満
実践の準備にかかった時間	数時間 (かまどベンチを借りる手続き・燃やす木材を集める・着火剤、アルミホイル等の買い物)
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 11 月 24 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 11 月 24 日 15 時 30 分 (子ども達の参加時間) 大人は準備や後片付けの為、12:30～17:30 頃までかかった
実践の所要時間	2 時間 (子ども達の参加時間)
実践の運営側で動いた人の人数	7 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般・防災関係者
防災教育の対象者の人数	32 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館横の「防災公園」
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	かまどベンチを使える人 マキで火を扱える人 (災害時を想定して炭ではなくマキを使う) マキで調理 (焼き芋) が出来る人 事前準備 (事前の草刈り (役場と教育委員会の新田さんにも連絡済み)・防災倉庫の中も見せてほしいので鍵・かまどベンチを組み立てる工具を貸してもらう) 準備した物 サツマイモ・ tongue・串・アルミホイル・マキ (製材所で分

	けて頂いた)・古新聞・着火剤・着火マン・軍手・火箸・鍋 (お茶沸かし用)・お玉・茶葉・紙コップ・ペットボトル(水 運び用)・バケツと水・消火器
--	---

達成目標	災害時に役立つ「かまどベンチ」の使い方を知る (子どもエコクラブ⑩)	
どの力を身につけよ うとしましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	12:30 頃から「かまどベンチ」を組み立て、マキに着火する。 13: すぎに子ども達が集まりはじめたら、サツマイモを洗い、新聞紙で くるんで濡らして絞り、アルミホイルで包む作業をしてもらう。 イモを焼いている間は子ども達は(29) 太陽光以外の火おこしをする 14: 30 頃イモが焼けてきたら、「牟婁さくら園」に声をかける かまどベンチで鍋を使ってお茶をわかす 「牟婁さくら園」の入居者さまたちとレクリエーションを楽しむ (バースデーチェーン・じゃんけんカード) 焼き芋とお茶をみんなで食べる	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	



得られた成果

児童館の近くにある「防災公園」にある「かまどベンチ」を使用するのはこれで3回目。でも、今回の子ども達には初めてである。定期的に使用して、使い方を身につけてもらいたい。

子ども達にはイモの準備、使用しない「かまどベンチ」を組み立ててもらったが、実際の火の管理は大人に任せた。その間、太陽光以外の火おこしを体験し、種火から炎にするまでの難しさを学んだ。

牟婁さくら園（身体障害者の施設）の入居者さまに数人来ていただき、焼きいもを食べたり、ゲームをして交流した。

どのくらい身につきましたか？

知識・技能	かなり
思考力・判断力・表現力	少し
学びに向かう力・人間性	少し

課題・苦労・工夫

以前から、「かまどベンチ」を組み立てる工具と、そのそばの「防災倉庫」の鍵が、離れた役場にしかないことが気になっていた。今回、近くにある「朝来児童館」にそれらのスペアキーを置いてもらえないか交渉中。

火の扱い方については、子ども達にも経験して欲しいが、十分な大人もいない中、15人の子どもに火を扱わせることは難しい。

障がいがある人もない人もみんなで楽しめるレクリエーションについては勉強不足だった。

	施設側も土曜日で人手が足りないこともあり、職員は1名ずつ交代で参加してくれたが、喋ることが出来ない人、車椅子で両手も動かない人、自分の誕生日が分からない人、イモという固形物を食べることが出来ない人、イモや水分を自分では摂取できない人、など、重複して障がいを持っている人が多く「どんな人も一緒に過ごすことが出来る避難所」を目指して企画したが、まだまだ困難なことが沢山あると感じた。
--	---

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	牟婁さくら園
関係者の説明	障害者支援施設
関係者の連絡先	0739-47-5651

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	幾島崇さん 和歌山県立南部高等学校
関係者の説明	高校教諭（農業科）
関係者の連絡先	0739-72-2056

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	新田賢治さん
関係者の説明	教育委員会
関係者の連絡先	0739-47-5930

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	約半年前にみんなで植えたサツマイモの味はいかがでしたか？ 予想よりたくさん採れて、とても美味しかったですね。作物は、ただ植えておけば出来るのではなく、水やり、病気や虫がついていないか、肥料やり、土寄せ、草むしりなど、見えない所でお世話をしてくれた人のおかげで、こんなにたくさん収穫できました。それを忘れないでくださいね。 かまどベンチは、こんなに近くにあるけれど、実は組み立てる道具が

ここにはないので、普段はベンチのままです。倉庫も開けることが出来ません。災害時にすぐに使えるように交渉していきたいと思います。牟婁さくら園の方々は、みんなが積極的にかかわってくれて、良かったです。災害時には、もともと障がいがある人だけでなく、怪我をしたり病気になってお手伝いが必要になる人が増えます。普段から、どのようにお手伝いをしたらよいかを知っておくことは、そんな時にとっても頼りになります。もちろん、自分や家族がお手伝いをしてもらう側になるかもしれません。この24時間大人がいる「牟婁さくら園」と顔見知りになることは、みんながたとえば夜、変な人に付きまとわれて怖い思いをすることがあれば、ここに逃げ込ませてもらえますよね。お互いに助け合える関係を続けていきたいと思っています。

皆で一緒に楽しめるレクについてはまだまだ勉強不足でした。もっと他に良いレクがないか、私も勉強しておきます。みなさんも、良いアイデアがあれば教えてください。

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 12 月 1 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (32)
タイトル	「防災ズクッション」製作 (防寒にもなり、防災ずきんにもなり、浮力の補助としても使える (かな?) ベストをクッションの中に備える)
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	3000 円未満
実践の準備にかかった時間	数時間 (試作)
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 12 月 1 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 12 月 1 日 15 時 30 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	4 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民
防災教育の対象者の人数	11 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	朝来児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 プチプチ・平ひも・透明幅広梱包テープ・バスタオルやいろいろな服などカバーになるもの・裁縫セット・仕付け糸・安全ピン

達成目標	「防災ズクッション」製作 (防寒にもなり、防災ずきんにもなり、浮力の補助としても使える (かな?) ベストをクッションの中に備える)	
どの力を身につけようとしていましたか?	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>1200mm幅のプチプチ（気泡入り緩衝材）を550mm幅に切り、二つ折りにして頭を出す所に切り込みを入れてベストのように着られるようにする</p> <p>プチプチのベストに絵を書く</p> <p>平ひもは約2m（子どもは短めでよい）に切っておく</p> <p>平ひもを腰あたりで結べるように透明幅広梱包テープで固定する（子どもは今後身長が伸びるので、固定せずに同梱する）</p> <p>座布団くらいのサイズに折りたたみ、持参のバスタオルや服で包む（ひもが角2か所から出るようにたたむ）</p> <p>数か所を仕付け糸で留めて、座布団が開いてしまわないようにする（すぐにほどこきたい人は安全ピンで留める）</p> <p>ひもをイスの背もたれに結び、普段は座布団（クッション）として使い、避難時に防災ずきんが必要なら、ひもと座布団を使って頭に固定出来る</p> <p>避難先で寒ければ、プチプチをベストのように着たり、シートのように床に敷くことが出来る（バスタオルも使える）</p> <p>（ベストをひもで身体に固定すれば浮力になるかと風呂で試してみたが、あまり浮力になるとは思われなかった）</p>
	
<p>得られた成果</p>	<p>プチプチを使ったベストをタオルや不要な服に包んで座布団のようにして普段から手に届く所で使用する。</p> <p>頭に被れば、防災ずきん、寒い時に着れば防寒。着ても浮力は感じられないが、丸めて胸に抱え、ぶら下がるように使えば、ペットボトルのように少しは浮力になるかもしれない</p>

どのくらい身につきましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫	<p>当初は、防寒になり、防災ずきんになり、救命ベストになるものを作りたいと思っていたが、市販のプチプチでは浮力が得られなかった（無いよりましかもしれないが）防寒となるベストやシートとしては使えるが、腰ひもの位置を固定すると子どもから大人まで使うのは、難しくなるため、ひもはタオルの隙間に挟みこむようにして固定しなかった。</p> <p>市販のもの（モンベルの「浮くっしょん」）を参考にしたが、値段が高い理由が分かった気がする(そう簡単には作ることができない)</p>	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	<p>以前、タオルで防災ずきんを作りましたが、あのかさばる頭巾を普段どこにおいておけばじやまにならなくていざという時にすぐに持ち出すことが出来るか悩んでいました。その時に見つけた市販のモンベル「浮くっしょん」は普段はクッションとしてイスに敷いておき、カバーを外すとライフジャケットになるという優れものでした。串本町では、以前から古座川のカヌーをモンベルで購入したり東日本大震災の後に、この「浮くっしょん」100着を寄贈して頂いたりのご縁があり、串本町の職員も240着を購入して座席で使用しているそうです。あそこは津波が数分で押し寄せるところなので、これを備蓄しているようです。今年の1月にはモンベルと協定を結び、更に防災や自然体験の促進について協力していくことになりました。</p> <p>こちらの「BODY PROTECT VEST (ボディプロテクトベスト)」は、ライフジャケット、防災ずきん、リュックにもなり、これらをヒントに今回の「防災浮クッション」を考えましたが、試してみると浮かなかったので、（私が重いだけか？）改め「防災ズクッション（ズは、頭巾のズ）」にネーミングを代えてみました。</p> <p>地震の時は頭をクッションなどで守ることは大事です。（本当はヘルメットの方がいいけれど）避難する時には出来るだけ両手を空けておきたいので、カッコ悪いとか関係なく、手元にあるのなら、命を守るために頭は頭巾で守ってほしいです。（でもこれは火災には役に立ちません）</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 12 月 15 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (33)
タイトル	あっそ防災トランプで遊ぼう (防災買い物ゲーム)
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	(トランプ・ラベルシール) 1000 円未満
実践の準備にかかった時間	数時間
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 12 月 15 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 12 月 15 日 14 時 15 分
実践の所要時間	45 分
実践の運営側で動いた人の人数	4 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・ 地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	11 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ゲームを考えて実践する人 準備をした物 あっそ防災トランプ リュックシート

達成目標	避難リュックに入れるものを 2000 円で揃えよう (家に備えておくもの・避難所に会ったらいいもの)	
どの力を身につけよう としましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>トランプに書かれている様々な物と値段を見て、¥2000で「防災リュックの中身」をそろえるためには、どれを選ぶかを考えて「リュックシート」に書き込んでいく。</p> <p>また、それを選んだ理由を聞いたり考える機会にする。</p> <p>無料のものもある（買い物袋と古新聞）これを入れるか入れないか、その理由も聞く</p>	
		
<p>得られた成果</p>	<p>限られた値段の中で必要な物、何かで代用できるものを考えて自分の避難リュックに何を入れるかを具体的に考える</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
<p></p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
<p></p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>避難リュックが、「自分だけのもの」か「家族を含むもの」かで入れるものが変わってくるという意見があった。どちらかに統一するよりは、それぞれの立場で考えれば良いのではないかと思う。4人家族でも、とりあえず自分のだけという考え方もあるだろうし、子どもが小さければ子どもの食糧やおむつ優先という人もいるだろう。</p> <p>無料の「買い物袋と古新聞」は、以前から参加している子は「入れる」としたが、初めての子が「少しでも軽くするために入れない」と言った。これらは使い方によっては非常に役に立つ物であるが、子どもであれば、やはり軽くしたい気持ちもあるのだろう。どんなことに使えるかを</p>	

	<p>ゆっくり説明した後で、もう一度聞いてみたかった（時間不足）</p> <p>このカードにそれぞれの重さも記入して、リュックが5キロ未満になるように内容を考えるようにしても面白いかもしれない。</p>
--	---

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>避難リュックにはいろんな物をたくさん入れておきたいけれど、お金もかかるし、あまりに大きかったり、重たい物は持つのも大変です。</p> <p>このカードゲームでは、実際に揃えたらどれくらいの大きさ、重さになるのかまではわかりませんが、限られたお金で必要な物を選ぶ練習が出来ます。</p> <p>例えば、「携帯トイレ」一つを準備するより、「トイレとしても、ほかのことにも使える物」を準備した方が役に立つかもしれません。いや、やっぱり専用の物の方が使いやすくて良いかもしれません。答えはないのですが、それぞれの立場で考えた答えをみんなで共有することで、自分とは違う他の人の考えを知ることが出来ると思います。それを知ったうえで、「やっぱり自分はこうしよう」という答えが見つければいいなあと思います。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 12 月 15 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (34)
タイトル	マイトイレ活用法! (カードゲーム&実際につくる)
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	1000 円未満
実践の準備にかかった時間	数時間
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 12 月 15 日 14 時 15 分 ～西暦 2018 年 12 月 15 日 15 時 00 分
実践の所要時間	45 分
実践の運営側で動いた人の人数	4 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・ 地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	11 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	朝来児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ゲームの説明 準備した物 マイトイレセット 4 組 (1 組中:・尿とりパット・25ℓ 手提げ袋 (15 号買い物袋) ・45 リットルゴミ袋×2 (透明と黒)・新聞×1 (箱) ・新聞×2・輪ゴム×6・ポケットティッシュ・ナプキン ・ポリ袋×3 (高密度ポリエチレン)・ストッキング 「マイトイレ活用法!カード」(お題)

達成目標	限られたものの中で困りごとを解決する力を養う	
どの力を身につけようとしたか?	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>お題カード（困りごと）を見て、これら実際の「マイトイレセット」を使ってどうするか考える。（切ったり加工してもOK・実際に作ってみる・どんな具体的な困りごとがあるかは自分で考える・困りごとが思い浮かばないときは、こちらから提案しても良い）</p> <p>お題：例)「ぐっすり眠りたい」 ポリ袋…「耳栓をつくる」（うるさい時） 新聞と輪ゴム…「アイマスクをつくる」（明るい時） ポリ袋と新聞紙…「自分に合った枕をつくる」（枕がない時） ゴミ袋や新聞紙…「穴をあけて服のように着たり、身体にかける」（寒い時）</p> <p>①「小雨が降ってきて寒い」 ゴミ袋を使って着る物やレインコートを作ろうとしてくれた</p>
	
<p>② 私の下着（パンツ）がない」 （ズボンはあるが、中に履く下着（パンツ）がない。ズボンが汚れるのは困るので、何とかしてほしい）</p>	



<p>得られた成果</p>	<p>目の前にある物だけを使って何とかしようという意思が強く、私が持っていた答えとは違っていたが、何とか下着として使えるようなものができた</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>かなり</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<p>今回、①今までに何度か作ったことのある「レインコート」を、作り方を説明をせずに作ってもらった。なんとなく覚えていた女の子たち、完全に忘れていたけれど、考えてキャップまで作ってくれた男の子たち。それぞれ形は異なるけれど、雨、寒さを防ぐ物が出来上がった。</p> <p>②初めての「私の下着（パンツ）がない」というお題は、マイトイレセットの中身を使って何とか私のパンツを作ろうと子ども達が努力してくれる姿が頼もしかった。ゴミ袋でパンツを作り、腰にストッキングを通してゴムのようにしてくれたり、尿とりパットにストッキングを取り付けて履けるようにしてくれたり、（手っ取り早いのは買い物袋をパンツの形に切ってパットを当てたり、ストッキングの脚を切り、パンツの形にしてパットを当てるなど）何のヒントもなくとも子どものアイデアはスゴイと思った。</p> <p>じっくり取り組むには時間が足りなかった。もっと子ども達のアイデアをもらうためにも、2時間くらいはこのテーマでやってみたいと思う。</p>	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>今日は、久しぶりに「レインコート」を作ってみました。作り方を忘れてしまっていたけれど、みんなで考えれば、思い出したり、違う形のレインコートが出来上がったり、ここにある物でちゃんと何とかすることが出来たのがすごかったと思います。</p> <p>それから「私のパンツ」を作ってくれてありがとう。普段はお家の人 がちゃんと洗濯してくれるので、パンツがない！なんてことはあり得ないと思うけれど、そのあり得ないことが起こるのが「災害時」です。洗濯したくても水が出ない。電気が止まっているから洗濯機も動かない。パンツを買いたくてもお店が開いていない。お金をおろしたくても銀行が閉まっている。神戸の地震の後に、お店が開いた時にはじめに私が買った物は飲み物と食べ物、それから「パンツ」でした。お風呂には入れなくても、下着だけは取り換えたいですからね。</p> <p>皆さんの避難袋に下着は入っていますか？入れていても、足りないかもしれません。他にも欲しい人がいるかもしれません。そんな時、今日のように手元にある物で何とか出来る力は重要です。もし、私が足をケガしてトイレに行けなくなったら、今度はオムツを作って下さいね。みんなを頼りにしています。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 12 月 15 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (35)
タイトル	防災釣りゲーム：〇〇で××の代わりになるかな…クロスロード式 (トランプ)
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	1000 円未満
実践の準備にかかった時間	数時間
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 12 月 15 日 15 時 00 分 ～西暦 2018 年 12 月 15 日 15 時 30 分
実践の所要時間	30 分
実践の運営側で動いた人の人数	4 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	11 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ゲームの説明 準備した物 磁石を付けた釣竿 (割りばし・毛糸・磁石) 防災釣りゲーム用トランプ (トランプ 3 組ほど) ポイントシール貼付用カードとシール

達成目標	災害時に起こり得る「困りごと」を考え、それに対処する方法を考えられる	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>カードに様々な品物を書いてあります、クリップを付けて、磁石のついた釣竿で釣り上げることができます。</p> <p>欲しいものが他の人に取られても、他の物を使って何とかしても良いです。</p> <p>お題に合うように使えるものを釣り上げて、どう使うかを説明。全体の半数以上が「その使い方はOK」と判断したら、1ポイントゲット（手持ちのカードにシールを貼る）</p> <p>お題：例）「トイレに行きたい」（どんな困りごとがあるのかは自分で考える…たとえば、「紙がない」「水が流れない」「建物が壊れて外でしなくちゃいけない」など）</p> <p>新聞紙…「うんちを包んで見えないようにする」「トイレとして隠れる所（パーテーション）を作る」「トイレトペーパーの代わりにする」</p> <p>ゴミ袋…「水がでないのでトイレにかぶせて使う」「外でする時、黒のレインコートを作って体を隠してする」</p> <p>スコップ…「穴を掘ってトイレを作る」</p> <p>お題）ケガをして血が出ています</p> 	
<p>得られた成果</p>	<p>困りごとに対して、専用の物でなくても「何とか出来る」事を学ぶ</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>かなり</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>今は何か困り事があっても、そのために作られた専用のもので何とかす</p>	

ることが簡単にできてしまう。(ナイフ 1 本あればすべて出来るはずなのに、鉛筆は鉛筆削り器で削り、栗の皮は専用の道具で剥き、野菜の皮は皮むき器で剥き、紙を切るのは紙切りバサミ、木を切るのは剪定バサミなど)

今回は逆に「けがをして血がでた」ら、どんなものをどう使って何とかするかを考えてもらった。「小さなケガ」を想像した子は、ティッシュやハンカチを当てる、「大きなケガ」を想像した子は、タオルや尿とりパットなどを挙げた。それぞれ正しいが、感染を防ぐために血が自分の手に触れないように(たとえばポリ袋などを使って)気を付ける(何をどう使えば良いかを考えさせる)必要があることを伝えた。

以前同じようなゲームをやった時に、私としては「それはそういう使い方はしないんじゃないだろうか」と思うことがあり、(サランラップの箱を文鎮の代わりに使うという意見)しかし、子ども達多数は賛成で結局は○と判断した。そんなこともあり、全員でその答えが○と思うか、×と思うかをその場で聞いて判断することにした。

今回は、「転んで歯が折れたから入れ歯をいれる」という意見があり、「歯が折れたからと言ってここにたまたまある入れ歯が使えるワケではないし他人の物であれば(衛生的に)使ってはならないということで×となった。

また「出血が止まらないのでひもで縛る」という意見があり、実は紐で止血するのは、ひもの幅が 3 cm 以上のもの、圧迫の強さ(動脈が触れなくなる程度)圧迫の時間(30 分に一度は緩めて血流を促す)など難しく、うまく出来ないと神経を痛めたり、筋肉を壊死させたりすることがあるので、慎重に行う必要がある。看護師の立場から、「間違いではないが、とても難しいので基本的には圧迫止血するように」とアドバイスをして○とした。

本で行った 3 種のゲームではこれが一番面白く、もっとやりたいという声が沢山あった。(30 分しかできなかった)

また、「困りごと」ではなく、「自分の物でなくてはならない物」を探すというお題(「入れ歯」はここで使用するつもりだった)もあり、次は時間をかけて、子ども達の意見をもっと聞きたいと思う。

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>今はいろいろ便利な時代ですね。私が子どもの頃は、鉛筆はナイフで削っていました。今みんなは「鉛筆削り機」で削りますよね。キレイで早いけれど、電気がないと動きません。野菜の皮は皮むき器で剥いて、切る時は包丁で切って。「栗の皮をむくナイフ」とか「はっさくの皮をむくナイフ」もあります。でもやろうと思えば全部ナイフ1本でできますよね。</p> <p>災害時は困ったことがあって「あれが欲しい」と思っても手に入らないことが多いです。そんな時に「あれがないと何にも出来ない」ではなくて「別の物でも何とかできる」方がカッコいいと思いませんか？ 今回のゲームがそんなヒントになったら嬉しいです。</p> <p>そして、「不便を楽しめる」くらい、強くたくましくなってほしいです。今回は時間がなくて残念だけれど、私もみんなの意見、考えをもっと教えてほしいので、またやりましょう。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2018 年 12 月 22 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (36)
タイトル	クリスマスの空き缶キャンドル (製作はキャンドルタイプ) & クリスマス会
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	1000 円未満
実践の準備にかかった時間	数十分 (買い物・試作)
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 12 月 22 日 13 時 30 分 ～西暦 2018 年 12 月 22 日 15 時 30 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・ 地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	10 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 アルミ缶・缶切り・布ガムテープ (粘着が強力タイプではないもの) 押しピン (指でつまむところがあるもの)・キャンドル (平たくてアルミ缶の中に入れられるもの)・万能ハサミ・めうち・油性マジック

達成目標	クリスマスにふさわしい空き缶のキャンドルスタンドを作る (災害時に便利なキャンドルを備えることができる) (子どもエコクラ④)	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>アルミ缶の上部にめうちで穴を開けて缶切りで上の面を切り取る アルミ缶の全面約半分に布ガムテープを2枚縦に貼る ガムテープの上に油性ペンで好きな絵柄を書く 絵柄に沿って押しピンで穴を開けていく ガムテープをはがす 中にキャンドルを入れて準備OK 火を付けるときは必ず大人に伝えて、周りに燃えるものがないようにすること</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>	
<p>得られた成果</p>	<p>缶切りが使えるようになる クリスマスのリサイクル工作を楽しみつつ、災害時の明りの備えができる</p>

どのくらい身につきましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦勞・工夫	<p>缶切りを使ったことが無い子どもが多かった。私も使い慣れている物は使えるが、万能ナイフ等に一緒になっているタイプのもは難しく、なかなか思うように開けることが出来なかった。(結局は全員が何とか開けられた)今はプルトップ式(イージーオープン缶)が多いが、輸入物の缶詰には缶切りがないと開けられない物もあるので練習になって良かった。</p> <p>細かく絵柄に沿って穴を開けていた子が、ガムテープをはがすとアルミ缶ごととはがれてしまうことがあり、粘着が強くない物を選んだ方が良い事がわかった。</p> <p>キャンドルを使わないタイプのものとしては、空き間の側面に穴を開けてティッシュの芯を立たせるようにしてサラダ油を使う方法もある。</p>	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	<p>もうすぐクリスマスですね。今日は空き缶のリサイクル工作で、クリスマス柄のキャンドルスタンドを作りました。家で使う時にはいつものように家の大人に必ず伝えてから危険のないように火を付けて下さい。クリスマスプレゼントが「火事」では悲しいですからね。</p> <p>キャンドルを使わないタイプの物としては、サラダ油を使ったキャンドルを応用して、アルミ缶の切り方を工夫することで、ティッシュの芯を立たせることが出来ます。</p> <p>キャンドルは災害時の備えとして役に立つけれど、特に地震の後はガス漏れしていることもあるので、(ガスの臭いを知っていますか？ここら辺りは「プロパンガス」なので、ガスは床にたまるけれど、都会では「都市ガス」が多く、ガスは天井あたりにたまります) 明りが無いからといってすぐにキャンドルに火を付けたりしないでください。大人が落ち着こうとしたばこに火を付けようとするかもしれないけれど、それも危険なので、止めて下さい。</p> <p>火は危険だけれど役に立つ物でもあります。「火の扱い方」「火の危険さと便利さ」を正しく知って、「火を扱える大人」になってほしいと思います。</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 5 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (37)	
タイトル	牛乳パックの食器作り	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	ほぼ 0 円	
実践の準備にかかった時間	数十分	
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 1 月 5 日 14 時 30 分 ～西暦 2019 年 1 月 5 日 14 時 50 分	
実践の所要時間	20 分 (七草粥) が煮えている間の時間を使って製作	
実践の運営側で動いた人の人数	5 人	
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	10 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	あっそ児童館	
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	牛乳パック (今回は切り開いた物で食器 (お椀とスプーン) : 切り開いていない物で取っ付きコップを製作)	
達成目標	牛乳パックを使って食器を作ることができる (子どもエコクラブ®)	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	切り開いていない牛乳パックを使った食器は何度も製作しているので、今回は切り開いている物を使って折り紙のように追ってお椀を作る 牛乳パックの四隅を使ってレンゲのようなスプーンを作る 切り開いていない牛乳パックを使って取っ付きのコップをつくる	



得られた成果	牛乳パックを使った硬さもあり安定したお椀・スプーン・取って付きコップを作ることが出来た	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦勞・工夫	紙皿や紙コップ、スプーンもあったので作ることに對するブーイングもあったが、実際に使ってみると思ったより使いやすかった。 コップはわざわざ「取って」を作る必要はないかもしれないが、手の不自由な方や小さい子どもにはあった方が良い場合もある。	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	<p>今までに何度も牛乳パックで食器を作ったりまな板の代わりに使ったりしているので、内側が防水になっている便利さは知っていると思います。</p> <p>でも、切り開いて平になった牛乳パックを使ったのは初めてですね。新聞紙を使った食器は、いつもの「箱」でいいと思うけれど（中にラップやポリ袋を敷いて使う）これくらい硬さがあると、「箱」を折ることが難しいです。そんな時に便利ですよ。</p> <p>スプーンを作るのもみんな慣れたものでした。</p> <p>コップは「取って」がないと使えないワケではないけれど、小さな子供や手が不自由な人が使う時は、ある方が使いやすいかもしれません。障害のある人・介護用に作られた食器を見ると、スプーンは力がなくても持ちやすいように柄の部分が太くなっていたり、コップには握りやすい「取って」がついています。機会があれば見てみて下さいね。ちょっとした配慮で誰もが過ごしやすいようになりますように、</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 5 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (38)	
タイトル	七草粥+食べられる野草を知ろう	
実践担当者のお名前	坂本初美さん	
実践にかかった金額	(七草は採取してくれたが、鮭、たまご、漬物、米は購入した) 3000 円未満	
実践の準備にかかった時間	数時間 (七草採取)	
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 1 月 5 日 13 時 30 分 ～西暦 2019 年 1 月 5 日 15 時 30 分	
実践の所要時間	2 時間	
実践の運営側で動いた人の人数	5 人	
防災教育の対象者の属性	全ての人々	
防災教育の対象者の人数	10 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	朝来児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">準備した物</div> 七草・米・鮭・玉子・塩・漬物・食器・鍋・ボウル・包丁・まな板・カセットコンロ・お玉	
達成目標	七草粥の意味と、食べられる野草について知る (子どもエコクラブ⑩)	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>七草のいわれを聞く どのあたりで採取できるか もとの名前と別の名前（スズナはダイコンなど） なぜこの時期に七草粥を食べるのか 調理 七草を洗って刻む ダイコンとカブだけ刻んで別に取り分ける 米を洗ってお粥を炊く 先にダイコンとカブを入れて炊く 塩で味付け（京都は白みそで味付けする） 直前に残りの七草、鮭、玉子を入れる つけものと一緒にいただく</p>	
		
<p>得られた成果</p>	<p>毎年恒例の七草粥を作って食べて、無病息災を祈る</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>毎年恒例の行事になっていて、いつも準備から七草の採取までやってくれる「野草に詳しい先生」のおかげで実施できている。自分では購入した七草ならば調理できるが、採取は自信がない。 いつか、子ども達と一緒に採取するところから一緒にいきたいと思っているが、年の初めでもあり、時間がなく難しく残念である。 初めごろは「草を食べる」と聞いてイヤそうな子もいたが、近年そのよ</p>	

	うな姿は見られなくなった。良いことだと思う。 核家族が増え、行事ごとが少なくなっていく中で、「ふれあいルーム」で実施できることならばなんとか続けていきたいと思う。
--	--

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	坂本初美さん
関係者の説明	野草に詳しい

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>毎年恒例の「七草粥」です今回も「ブーマ」（坂本さん）のおかげで食べることができて良かったです。カブとダイコンは、畑で育ててくれて、それ以外は近所で摘んで来てくれました。</p> <p>「セリ」「ナズナ（ぺんぺん草）」「ゴギョウ（ハハコグサ）」「ハコベラ（ハコベ）」「ホトケノザ（コオニタビラコ）」「スズナ（カブ）」「スズシロ（ダイコン）」春の七草</p> <p>この7種の野菜を刻んで入れたかゆを七草がゆといい、邪気を払い万病を除く占いとして食べます。また、御節料理で疲れた胃を休め、野菜が乏しい冬場に不足しがちな栄養素を補うという効能もあります。</p> <p>今はビニールハウスなどがあるし、日本とは逆の季節の国から輸入することもできるから夏の野菜を冬に食べることもできるけれど、昔はその時期に採れる野菜しか食べることが出来ませんでした。（冷蔵庫もないので、乾燥させたりして保存する技術が発達しました）</p> <p>いつでも何でも食べられる今は便利かもしれませんが、でもそれらを作るためにどんなエネルギーが使われているのか（温室を温めるための燃料・外国から運ぶための燃料など）を考え、どんな食事を選ぶことが環境に良いのかを考えるきっかけになったら嬉しいです。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 5 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (39)
タイトル	羽子板に今年の防災目標を書こう!
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	1000 円未満
実践の準備にかかった時間	数十分
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 1 月 5 日 14 時 30 分 ～西暦 2019 年 1 月 5 日 15 時 00 分
実践の所要時	30 分 (「七草粥」を炊いている時間を利用)
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民
防災教育の対象者の人数	10 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	朝来児童館
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 牛乳パック・割りばし・透明幅広テープ・ガムテープ・アルミホイル・折り紙・油性ペン)

達成目標	正月の行事である羽子板に「今年の防災目標」を書いて抱負とする (子どもエコクラブ⑦)	
どの力を身につけようとしたか?	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>牛乳パックの一面の中心を縦に切り開き、反対側の面に底が付くように切る</p> <p>割りばしを牛乳パックの表面に底からガムテープで貼りつける</p> <p>割りばしを包むように持ち手の部分をガムテープで貼って握る所を作り側面は羽子板のようにななめに折る</p> <p>透明幅広テープで開かないように留めて、上部ははまっすぐになるようにハサミで切る</p> <p>表面に「今年の防災目標」を書き、油性ペンや折り紙で飾る</p> <p>羽の形に切った折り紙2枚の根本をテープでまとめ、粘着が外側になる用に巻きつけたうえにアルミホイルで玉を作る（はね）</p>	
		
<p>得られた成果</p>	<p>正月に「今年の防災目標」を書くことで、この1年間の抱負とする</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>少し</p>
<p></p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
<p></p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>簡単に短時間で作ることができるので、「七草粥」の合間に作ることにしたが、工作好きな子が多く、飾りに凝ってしまい、時間がかかった</p>	
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>		
<p>伝えたい相手</p>	<p>小学生</p>	
<p>伝えたい内容</p>	<p>お正月のスポーツ(?)と云えば、羽根つき! だけど、最近はそんな姿を見ることもありませんね。</p>	

	<p>以前は、飾りとしての羽子板を作ったけれど、今日のは実際に遊べる羽子板です。後から遊んでみてね。(中に割りばしが入っているので、しっかりしている)</p> <p>あまり飾ると、羽を打つのが難しくなるので、表には「今年の防災目標」を書いてください。もちろん、この1年でそれを実行する事!</p>
--	--

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 12 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (40)
タイトル	防災標語かるたを作ろう & 遊ぼう
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	(白紙かるた・ひらがなシール・保護シール) 3000 円未満
実践の準備にかかった時間	数十分
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 1 月 12 日 13 時 30 分 ～西暦 2019 年 1 月 12 日 15 時 30 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	8 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・ 地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	約 25 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	朝来児童館
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 白紙かるた・ひらがなシール・保護シール・油性マジック・ 色鉛筆・鉛筆・雑紙

達成目標	正月のイベントである「かるた」を「防災標語」で作る	
どの力を身につけよう としましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し

実践内容・方法	<p>「かるた」のはじめの文字だけ、大きくて読みやすい「ひらがなシール」を貼って準備しておく</p> <p>事前に防災標語についていくつか考えてきてもらう（書きたい「はじめの字」が重なる可能性があるので複数準備してもらう）</p> <ul style="list-style-type: none">・「防災」に限らず、身を守る、教訓、伝えたいこと、大切なこと等を「5.7.5」の標語になるように考えて下書きする（必ずしも「5.7.5」になっていなくても良い）・どうしても見つからない子には、あらかじめインターネットで探しておいた標語を見せて、できれば丸写しではなくて、一言でも自分の言葉に変えて使用するよう伝える）・書いてくれた内容を確認（あまりに外れたものがあれば修正する）・書きたい標語のはじめの文字を挙手で選ばせる（複数の希望者があればじゃんけんで決める）・「標語」と「標語にあった絵」をそれぞれカードに書いてもらう・かけた子はまだ描けていないカードを書いてもらう・出来上がった「かるた」で「かるた大会」・「5.7.5」だけでは十分に伝えきれていないと感じたカードは本人に確認して補足を付ける
	



得られた成果	自分で考えた「大事な事」の復習だけでなく、他の人が考えた「大事な事」も知ることができた	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦勞・工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が多かったので1時間ほどですべてのカードが出来あがった。 ・残ってしまう言葉は子ども達みんなに何か良い言葉がないか聞いてみることで何とかなった ・時間不足の為、全員の「標語」を確認できないまま製作に入ってしまった、いくつかは「標語かな??？」と思うような物もみられた ・「5.7.5」になっている物が多かったが、カードに書く時に段落が途中で変わっている物が多く見られ、読みにくかった（7.7.3などの段落で書かれている物もあった）初めに「5.7.5」で区切って書くように伝えるべきだった ・はじめは、最初の言葉だけで絵札をすぐにとっていたが、読み札を最後まで聞いてから「はい」と返事をしてから取る事にルールを決めた。その方が、かるたの内容を把握できる（読み終わるまででにとってしまった子は「お手付き」として1回休みのルールを子ども達が自ら決めていた。 ・ほぼ同時だった子ども同士はじゃんけんで決めるなど、大人数だったがトラブル無く進行した。 ・カードの補足はどの段階で言うか迷った。かるたの途中だと、「そん 	

	<p>なことより早くかるたをさせて欲しい」という声もあった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NHK 和歌山放送が取材に来ていた事もあり、子ども達のテンションも高く、ニギヤカで楽しく進んだと思う。
--	--

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>お正月の遊びのひとつに「かるた」があります。今日は「かるた」を防災標語で作りたいと思います。</p> <p>難しく考えなくても、「身を守る」、「教訓」、「大切なこと」、など、今までの防災教室で心に残った事や、誰かに伝えたいこと、をできるだけ「5.7.5」にしてください。出来るだけなので、できてなくてもいいです。あまりこだわらずに考えて下さい。</p> <p>使いたい最初の「文字」が誰かと重なってしまったら、標語の順番を入れ替えたり、同じような意味の言葉と置き換えてみたり、周りの人に相談してもいいし、ヒントになりそうな例文も準備しているので、参考にして下さいね。</p> <p>自分が知っている事をぜひ、他の人にも伝えてあげてください。</p> <p>出来上がったら、「かるた大会！」をするので、お楽しみに！</p>

実践したプランの内容と成果

記入日（未実施）	西暦 2019 年 1 月 26 日（2018 年度のチャレンジプラン）
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ（41）
タイトル	こんな災害が起きた時、こんな道具があったらいいなあ！ （ドラえもんの秘密道具を考えよう）
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	0 円
実践の準備にかかった時間	なし
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 1 月 26 日 13 時 30 分 ～西暦 2019 年 1 月 26 日 14 時 00 分
実践の所要時間	30 分
実践の運営側で動いた人の人数	
防災教育の対象者の属性	保育園児/幼稚園児・小学生（低学年）・小学生（高学年）
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	朝来児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 紙と鉛筆 ドラえもんの秘密道具の予備知識

達成目標	災害を防ぐため、もしくは災害時に早く復旧復興するためにあればいい と思うものを考える（もしかしたら未来に実現するかもしれない）	
どの力を身につけよう としましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>ドラえものの秘密道具について どんなものがあったか、どういう風に使っていたかを子ども達に聞く 災害の時に「困ること」はたくさん出てくるけど、そんな時に、どんな道具があればいいか考える 既にある秘密道具をどんな時に使えば役立つかを考える 紙に書きだす 皆で発表</p>	
<p>得られた成果</p>	<p>未実施</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>全く 少し かなり 大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>全く 少し かなり 大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>全く 少し かなり 大いに</p>

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>小学生</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>みんな、「ドラえもん」を知っていますよね？ 今日みんなに「災害を防ぐ」「災害が起こった時に早く何とかする」ことに役立つ「秘密道具」を考えてもらいます。 ドラえもんはいつも便利な道具をポケットから出してくれます。私も自分の家にドラえもんがいたらいいなあと思っていました。 ドラえもんはあまりにたくさんの秘密道具を持っているから私も全部は知らないし、もしかしたら、自分で考えたつもりでも、もう、ドラえもんが持っているかもしれないけれど、そんなことは気にしないで、どんどん考えて下さい。 既にある道具を「この道具は災害の時にはこんなことに役立つよ」みたいなことを発見してもらってもいいです。 私が子どもの頃には、「ドラえもんの秘密道具」は絶対に実現しないだろうと思うような物でした。でも、今は科学が発達して、昔からは考えられなかったことが実現するようになってきました。 もしかしたら、「タイムマシン」や「どこでもドア」も作られる日が来るかもしれません。 「必要は発明の母」という言葉があります。「必要性は新しい発明を生</p>

む」という意味です。

「不便さ、不自由さなどから必要に迫られると、新しい発明や工夫が生まれる」ということですね。(基本的に、発明は必要とする人がいて初めて生まれます。このことから、「必要」を、発明を生む「母」にたとえたことわざです

鉛筆は芯が短くなったら削らないといけないけれど、ナイフから鉛筆削り器という便利なものができました。削らなくてもいいようにシャープペンシルが生まれ、シャープペンシルの文字はだんだん太く、薄くなってしまふことから「クルトガ」が生まれたんじゃないでしょうか？

たとえば、地震で家が崩れたときに、どこに人がいるのか見つけるのに時間がかかります。しかも、災害発生後 72 時間を過ぎると、生存率が急激に下がります。

そこで 72 時間以内に生存者を見つける画期的な救助用のロボットが開発されたらいいですね。

この場合、72 時間以内に救助することが「必要」にあてはまり、ロボットが「発明」ですね。

皆が考えてくれた「朝来の秘密道具」もいつか実現するかもしれません。

私の昔のニックネームは「ドラミちゃん」でした。体型が似ているのと、ポケットの中になんでも持っているからだそうです。(いちおう女の子だから) 確かに、私のリュックにはいろんなものが入っていますけどね (笑)

実践したプランの内容と成果

記入日 (未実施)	西暦 2019 年 1 月 12 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (42)
タイトル	あっそ児童館耐震化計画 (耐震グッズを取り付けよう・突っ張り棒・L字金具・踏ん張るくん・ガラス飛散フィルム・耐震マット)
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	1 万円未満
実践の準備にかかった時間	数時間 (買い物と使い方の確認)
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 1 月 26 日 14 時 00 分 ～西暦 2019 年 1 月 26 日 15 時 30 分
実践の所要時間	1.5 時間
実践の運営側で動いた人の人数	
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・外国人留学生・ 教職員/保育士等・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般・
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場	朝来児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 突っ張り棒・L字金具・踏ん張るくん・ガラス飛散フィルム・ 耐震マット 木片 2 片・ドライバー・ネジ・カッター・定規・霧吹き 出張減災教室でもらった家具固定のパンフレット

達成目標	耐震グッズの種類と使い方を知る 実際に取り付けてみる	
どの力を身につけようとしていましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	かなり

<p>実践内容・方法</p>	<p>児童館の中をみんなで見て歩き、どここのどの家具が地震の時に転倒する可能性があるかを確認する</p> <p>この場所で地震が起きたら、どこが安全かを確認する</p> <p>出張減災教室でもらったパンフレットを使用して、家具固定の重要さを復習しておく</p> <p>それぞれのグループに分かれて耐震グッズを取り付けてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・突っ張り棒…床を家具の上面、テーブルの下面を天井として、突っ張り棒を取り付けてみる（実際の家具と天井の固定は児童には難しく危険だと思われるので、取り付け方の練習のみ行う） ・L字金具…木片2片を使用して90度に重ね、壁と家具の上面としてL字金具をネジとドライバーで取り付けてみる ・踏ん張るくん…あまり重たくないスチールロッカーを使って「踏ん張るくん」を使用してみる ・ガラス飛散フィルム…子ども用に20～30cm四方にカットしたフィルムを児童館のガラスに張ってみる（濡れているうちにはがす） ・耐震マット…テレビや花瓶などの食器の下に使用して、転倒しにくくなった事を確認する 		
<p>得られた成果</p>	<p>未実施</p>		
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>全く 少し かなり 大いに</p>	
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>全く 少し かなり 大いに</p>	
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>全く 少し かなり 大いに</p>	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>小学生</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>今日は児童館の中を「危険な所はないか」と意識して歩いてみました。今まで、そんなふう考えたことがありましたか？</p> <p>けっこう「危険な所」がありましたよね。みなさんの家の中はどうですか？</p> <p>いろんな「耐震グッズ」を実際に取り付けてもらいました。</p> <p>これをちゃんと取り付けようと思ったら、天井近くに上ったり、もっと重たい物を動かさなくちゃならないこともあるから、みんなのチカ</p>

	<p>ラでは難しいかもしれません。</p> <p>でも、「耐震」の大切さをお家の人に教えてあげることが出来ますよね。家中の家具を全部安全にするのは大変です。時間もお金もかかります。でもせめて、みんながいつも過ごしているリビングや寝ている部屋だけでも、家具が倒れないように出来ないか、すぐには出来なくても、どの家具がどっちに倒れそうか知っているだけでも、いざその時にはそこから離れることができるかもしれません。</p> <p>上富田町では、耐震グッズや感震ブレーカーを取り付けるためにかかるお金は補助金が出ます。買う前に役場に聞いてみて下さいね。お家の人にもこのことを教えてあげて下さい。</p>
--	---

実践したプランの内容と成果

記入日（未実施）	西暦 2019 年 1 月 12 日（2018 年度のチャレンジプラン）
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ（43）
タイトル	節分（正常性バイアスを追い払おう）
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	1000 円未満
実践の準備にかかった時間	数十分
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 2 月 2 日 13 時 30 分 ～西暦 2019 年 2 月 2 日 15 時 00 分
実践の所要時間	1.5 時間
実践の運営側で動いた人の人数	
防災教育の対象者の属性	小学生（低学年）・小学生（高学年）・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	朝来児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	（豆用発泡スチロール玉・オニセット・紙・ペン・テープ・豆）

達成目標	自分の中にある「正常性バイアス」を書き出し、それを鬼に張り付けて、豆をぶつけて追い払おう （自分の中の「自分は大丈夫だろう」という根拠のない思い込みに気づくことができる）	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>正常性バイアスについての説明…自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価したりしてしまう人の特性のこと。「正常化の偏見」「恒常性バイアス」とも言う。</p> <p>今までに「正常性バイアス」が影響して犠牲者が増えたと考えられている事例</p> <p>例 1) 2003 年 2 月 18 日に、韓国の大邱市で起こった地下鉄火災。多くの乗客が煙が充満する車内の中で口や鼻を押さえながらも、座席に座ったまま逃げずに留まり、200 人近くの死者を出した</p> <p>例 2) 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）…「警報が出ているのを知りながら避難しない」人たちがいることが指摘されていた。ある地域では地震直後にはほとんど動きがなく、多くの人々が実際に津波を目撃してから初めて避難行動に移り、結果、避難に遅れが生じたことが解明された</p> <p>例 3) 2014 年の御嶽山噴火…登山者 55 人が噴石や噴煙に巻き込まれて死亡した。死亡者の多くが噴火後も火口付近にとどまり噴火の様子を写真撮影していたことがわかっており、携帯電話を手に持ったままの死体や、噴火から 4 分後に撮影した記録が残るカメラもあった。彼らが正常性バイアスの影響下にあり、「自分は大丈夫」と思っていた可能性が指摘されている。</p> <p>・「火災警報器」が鳴ったり、台風が来る情報を聞いた時に、「自分は大丈夫」と思うことが無いかな？</p> <p>あるならそれを書きだす（1 事例を 1 枚の小さめの紙に書きだす）</p> <p>書いた紙をセロテープで鬼に貼り付け、発砲スチロールの豆をぶつけて自分の中から追い払う</p> <p>最後は、2 チームに分かれて、机で仕切を作り、発砲スチロールの豆を相手の陣地に投げ込む</p> <p>数分で終了（タイムキーパーを決める）、どちらの陣地にたくさんの豆が投げ込まれているかを比べ、少ない方が勝ち</p>	
<p>得られた成果</p>	<p>未実施</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>全く 少し かなり 大いに</p>
<p>ましたか？</p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>全く 少し かなり 大いに</p>

	学びに向かう力・人間性	全く 少し かなり 大いに
--	-------------	---------------

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>学校で「火災警報器」が、いたずらやボールが当たったりして鳴ったことはありませんか？</p> <p>（無ければ）私が小学生のころは、けっこうよく鳴っていました。避難することはほとんど無く、そのまま教室で待っていてしばらくすると「あの警報は間違いでした」と放送が流れていました。</p> <p>あんまりしょっちゅうだったので、「またか～」と思って全然信じていませんでした。</p> <p>今はたとえ間違いでも本当の火災が起きた時と同じように避難すると聞いています。</p> <p>もし、本当の火事なら、待っている間に逃げ遅れてしまうかもしれないのだから、やっぱり逃げるべきだと思います。</p> <p>先生が「避難してください」と言えばみんなは避難するでしょう。でも、自分ひとりだったり、誰も逃げないときはどうしますか？</p> <p>自分だけで逃げる勇気がありますか？</p> <p>「逃げる勇気」をもって逃げて、東日本大震災の時に助かった小中学校があります</p> <p>「釜石の奇跡」と言われる群馬大学の片田敏孝教授の指導の元、地震の後に素早く高台に避難して、それを見て多くの人と一緒に避難しました。</p> <p>原則1：想定にとらわれるな</p> <p>「ハザードマップを信じない」ハザードマップに示されている通りに津波が来るとは限らないからです。実際、東日本大震災では想定外の大津波がやってきました。与えられた想定にとらわれることなく避難行動を起こしたからこと、彼らは助かったのです。</p> <p>原則2：その状況下で最善を尽くせ</p> <p>2011年3月11日、激しい揺れがおさまった後、まず校庭で部活をしていた中学生たちが「津波がくるぞ！逃げろ！」と言って大声で</p>

叫びながら高台に向かいました。隣接する小学校では子どもたちは、はじめは校舎の3階に避難していましたが日頃一緒に避難訓練をしていた中学生たちが一斉に避難する様子を見て、校舎から出て、中学生に続きました。そして無事に子どもたちは避難先に指定されていたグループホームに到着しました。しかし、津波の様子を見た子どもたちが、点呼を取っていた先生に「ここじゃだめだ」と進言をし、さらに高台にある介護福祉施設に避難をすることを進言しました。避難をする途中、近隣の保育園から園児を避難させるのを手伝い、また小中学生のそのような様子を見た近隣の住民もそれにつられて避難を開始しました。無事に全員が介護福祉施設に辿り着いたわずか30秒後に津波は施設の目前まで迫りました。このときの津波は釜石東中学校と鶴住居小学校の屋上をはるか超えて、最初に避難したグループホームにも3メートルの高さを超える津波が押し寄せていました。

もしハザードマップの想定にとらわれて避難していたら、間違いなく生き延びることは出来なかったでしょう。想定にとらわれず、そのときの最善をつくしたからこそ、子どもたちは避難することが出来たのです。

原則3：率先避難者たれ

人はいざというときになかなか「逃げる」という決断ができません。ここまでは来ないだろう、自分のところは大丈夫だろうと自分に都合の良い解釈をして、その場に留まってしまうことがほとんどです。自分が「率先避難者」（一番初めに逃げる人）になることで、周囲もそれに同調して避難をするようになります。今回の釜石東中学校の事例でも、中学生が率先避難者として避難を開始したことで、周囲の住民も避難を行いました。率先避難者となった子どもたちは周りの大人たちも救ったのです。

台風や小さな地震の度に全力で避難するようと言うつもりはありません。出来るだけ情報収集して、判断（難しい事だけれど）出来るようになってほしいです

実践したプランの内容と成果

記入日（未実施）	西暦 2019 年 1 月 12 日（2018 年度のチャレンジプラン）
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ（44）
タイトル	朝来児童館防災訓練（連絡の取り方・避難方法など：家族連絡用紙）
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	ほぼ 0 円
実践の準備にかかった時間	数十分
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 2 月 2 日 15 時 00 分 ～西暦 2019 年 2 月 2 日 15 時 30 分
実践の所要時間	0.5 時間
実践の運営側で動いた人の人数	
防災教育の対象者の属性	全ての人々
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	朝来児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	「緊急時の対応について」用紙

達成目標	朝来児童館で大地震が起きた時の身を守る方法と家族と連絡を取る方法、ここが危険な時の避難場所を確認する、消火器の使い方と場所の確認	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し

実践内容・方法	<p>緊急時の対応について</p> <p>家族に送る用紙の内容を一緒に確認する</p> <p>児童があっそ児童館を利用中に何等かの警報が出たり、災害等が起こった場合、緊急度に応じて教育委員会関係者と相談のうえ</p> <p>1. 児童の安全を確保して、様子を見る…児童館に集まる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の帰宅が可能と思われたら、帰宅させる場合もあります ・可能ならお迎えに来て下さい <p>（お迎えにあたり保護者自身の安全が保障できない場合は無理をしないでください）…家族が危険な目に合わないように</p> <p>2. 児童の安全を確保して、保護者にお迎えを要請する</p> <p>（お迎えにあたり保護者自身の安全が保障できない場合は無理をしないでください）</p> <p>3. 朝来児童館に留まることが危険と判断された場合は、ただちに朝来小学校に避難する（入口にその旨を記載し、避難後に家族への連絡をする）…大地震などで児童館が壊れそうな時、津波や洪水の恐れがある時は高台にある朝来小学校に避難する</p> <p>（電話がつかない場合は「災害用伝言ダイヤル 171」を使用して連絡することもありますので、使い方を確認しておいてください）</p> <p>…171 について説明</p> <p>例 1) 急にものすごい大雨が降ってきました</p> <p>…まずは外にいても児童館に集まって、先生の指示を待つ</p> <p>例 2) 大きな地震が occurred</p> <p>…児童館内での身の守り方の練習・3 の場合の避難方法について確認</p> <p>消火器の場所と使用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ①火災を見つけたら、大声で「火事だ」と叫んで周りの人に知らせる ②119 番へ通報 ③（初期消火できそうなら）消火器を（上下とも握ってしまうとピンがぬけにくくなる）危険のない火元近くまで運ぶ（3～6mくらい手前）
---------	---

	<p>④「ピン（黄色い安全ピンを引き抜く）」「ホース（先端を持つ）」「レバー（強く握る）」（ホース先端のキャップは圧力で自然に外れるので取る必要はない）</p> <p>⑤火の根本を狙い、手前からホウキで履くように消火する（風上からねらう・室内の場合は出入り口を背にして逃げ道を確保する）</p> <p>⑥中身が空になるまで噴射する（15～20秒程度）</p> <p>※天井に炎がとどく、又は天井に燃え移った時点で消火器による初期消火はできないと判断してください。</p> <p>※消火器は、火元と空気の間を遮断することにより火を消します。</p>	
得られた成果	未実施	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	全く 少し かなり 大いに
	思考力・判断力・表現力	全く 少し かなり 大いに
	学びに向かう力・人間性	全く 少し かなり 大いに

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>これまで、防災教室は長い間やってきたけど、「避難訓練」はしたことがありませんでした。</p> <p>という訳で、学校でやっているのと同じような訓練をここでもやりたいと思います。</p> <p>ただし、学校とは違うところがいくつもあります</p> <p>児童館にいつもいてくれる大人は榎本先生だけ。ここを使っている人も保育所から高校生までさまざま、みんなが児童館のどこに何があって、どこが安全かを知っていません。</p> <p>朝来小学校のように新しく丈夫な建物ではないし、高台でもないので、もしかしたら、ここから避難することもあるかもしれません。</p> <p>その時に何を持っていけば避難生活に役立つか（ぼうさいス・児童の名簿や連絡先・食料や水があれば）「牟婁さくら園」の入居者さんたちも避難するのなら、そのお手伝い出来るかもしれません。今日は、素早くその準備が出来るように練習したいと思います。</p> <p>「シェイクアウト訓練」を知っていますか？2008年に始まったアメ</p>

	<p>リカ発の新しい防災訓練で、地震の際の安全確保行動「Drop（姿勢を低く）、Cove（体・頭を守って）、Hold on（揺れが収まるまでじっとして!）」を身につける訓練です</p> <p>消火器も置いてあるのは知っていると思うけれど、使い方を練習するのは初めてではないでしょうか？</p> <p>まずは「火事だ」と叫んで知らせ、「119」に連絡、それから初期消火できそうならします。</p> <p>「ピン・ポン（ホース）・パン（レバー）」というやり方が覚えやすいかと思います。</p> <p>小学生のみんなに「消火器で火事を消して」と言っても良いのかどうか分かりませんが、「一番大事なのは自分の命」ということを分かったうえで、（知らせる&逃げる方が大事）大人が誰もいなくて消せそうなら消してください（決して無理をしないように）</p>
--	---

実践したプランの内容と成果

記入日 (未実施)	西暦 2019 年 1 月 12 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (45)
タイトル	手話教室
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	0 円	
実践の準備にかかった時間	数十分 (依頼とうちあわせ)	
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 2 月 9 日 13 時 30 分 ～西暦 2019 年 2 月 9 日 14 時 00 分	
実践の所要時間	30 分	
実践の運営側で動いた人の人数		
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般	
防災教育の対象者の人数	約 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	朝来児童館	
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	手話を教えることが出来る人	
達成目標	「こんにちは」「私の名前は〇〇です」「何かお手伝いしましょうか?」「ありがとう」を手話で伝えられるようになる。	
どの力を身につけようとしたか?	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	かなり
実践内容・方法	和歌山県手話条言語例について 目的 この条例は、手話が言語であるとの認識に基づき、手話の普及及び習得の機会の確保に関する必要な事項を定めることにより、ろう者とう者以外の方が共生することのできる地域社会を実現することを目的としています。	

	<p>■ 公布日・施行日</p> <p>・平成 29 年 12 月 26 日</p> <p>手話は「言語」であり、そして、ろう者の「いのち」である</p> <p>本日の講師「浅井奏音くん」に</p> <p>「こんにちは」「私の名前は〇〇です」「何かお手伝いしましょうか?」「ありがとう」を手話で言えるように教えてもらう。</p> <p>お互いに手話でやりとりする</p>		
得られた成果	未実施		
どのくらい身につきましたか?	知識・技能	全く 少し かなり 大いに	
	思考力・判断力・表現力	全く 少し かなり 大いに	
	学びに向かう力・人間性	全く 少し かなり 大いに	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ			
伝えたい相手	小学生		
伝えたい内容	<p>今日は手話をちょっとだけ使えるようになりましょう。</p> <p>今日の先生は浅井奏音君、20歳の若い先生です。先生は、生まれつき耳が聞こえにくく、手話が使えます。補聴器をつけて、大きな声でゆっくり話してもらえれば聞き取れるので、先生に質問するときはそのようにお願いします。</p> <p>和歌山県では、平成 29 年 12 月 26 日「和歌山県手話条言語例」が交付されました。昔、日本では、手話という大事な言語をろうの方々から奪ってしまった歴史があります。今はそれを反省して、「ろう者とうろ者以外の方が共生することのできる地域社会を実現することを目指す」として手話を使うことが出来る人を増やそうとしています。</p> <p>私もほんの少しだけ習ったことがあるけれど、普段つかわないので、すぐ忘れてしまいました。</p> <p>今日教えてもらうことは、あいさつの基本と自己紹介、それから、災害時に必要となる（かもしれない）「何かお手伝いしましょうか?」です。これだけは、時々お互いに練習して、忘れないようにしたいと思います。</p> <p>もし、興味があれば、ぜひ「手話」を習って私にも教えて下さいね。</p>		

実践したプランの内容と成果

記入日 (未実施)	西暦 2019 年 1 月 12 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (46)
タイトル	バレンタインのないないクッキング (ハート型♥のホットケーキ作り)
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	3000 円未満
実践の準備にかかった時間	数十分 (2 回目なので、準備のみ。始めての時は最後までやってみたので数時間かかった)
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 2 月 9 日 14 時 00 分 ～西暦 2019 年 2 月 9 日 15 時 30 分
実践の所要時間	1 時間 30 分
実践の運営側で動いた人の人数	
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生保護者/PTA・地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	朝来児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 ホットケーキの素・牛乳・たまご 牛乳パック (多め)・ポリ袋・アルミホイル・針金ハンガー×2・ツナ空き缶×3・段ボール・ティッシュペーパー・サラダ油・ハサミ・ホットプレート・着火マン

達成目標	食材はあるが、調理器具 (フライパン・コンロ・箸・ボウル) がない！ 身のまわりにある物を利用して、ホットケーキを作ることができる (子どもエコクラブ®)	
どの力を身につけよ	知識・技能	かなり

うとしましたか？	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	<p>ホットケーキの材料をだす</p> <p>ホットケーキを作るために必要な物を子ども達に聞く (ボウル・混ぜるもの・コンロ・フライパンなど)</p> <p>児童館にありそうなもので何かそれぞれの代わりになりそうなものがないか相談する</p> <p>ボウル…牛乳パック 混ぜるもの…牛乳パック コンロ…空き缶と段ボールとティッシュとサラダ油 フライパン…アルミホイルと針金(針金ハンガー) 食器…(牛乳パックや新聞紙とラップ、もしくはアルミホイル)</p> <p>それぞれで道具を作る</p> <p>2班に分かれて(途中で入れ替える)</p> <p>外で上記の道具を使用してホットケーキを焼く</p> <p>室内でホットプレートでハート型の牛乳パックで作った枠を使ってホットケーキを焼く</p>	
得られた成果	(今回は) 未実施	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	全く 少し かなり 大いに
	思考力・判断力・表現力	全く 少し かなり 大いに
	学びに向かう力・人間性	全く 少し かなり 大いに

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>今日は「バレンタインのないないクッキング」です。</p> <p>ホットケーキの材料はあるけれど、ホットケーキを作るための器具が無いので、どうしよう？</p> <p>みんな児童館にどんなものが置いてあるかは大体わかっていると思うので、(あるかどうかわからなくてもとりあえず使えそうなものはなんでも言うだけ言ってみて下さい。あれば出します) それらを使って道具を準備しましょう</p>

今までの調理や食べ物を使うプログラムでもやったことがヒントになると思います。七草粥を食べた時の入れ物とスプーンは何で作ったっけ？新聞紙とラップでも容器はできますよ。

コンロはヒントを出すので一緒に作りましょう。

ホットプレートに塗る油は燃料にもなりますね（「サラダ油のキャンドル」でやりました）油だけでは、温度が相当高くならなければ火はつきません。広い面積で燃えるようにするには段ボールを使います。

マッチで火を付けたい人（「マッチの使い方」の復習をしてから）はどうぞ。

このコンロでは焼くのに時間がかかるので、室内では牛乳パックを輪切りにしてホッチキスで♥型にした枠を使ってバレンタインらしいハート型のホットケーキを作りましょう。

実践したプランの内容と成果

記入日（未実施）	西暦 2019 年 1 月 12 日（2018 年度のチャレンジプラン）
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ（47）
タイトル	手作りハンドクリーム
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	5000 円未満
実践の準備にかかった時間	数時間
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 2 月 16 日 13 時 30 分 ～西暦 2019 年 2 月 16 日 14 時 30 分
実践の所要時間	1 時間
実践の運営側で動いた人の人数	
防災教育の対象者の属性	小学生（高学年）・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・ 地域住民・社会人/一般・女性
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場	朝来児童館
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 ホホバオイル・エッセンシャルオイル・蜜蝋・ケース・爪楊 枝・ワセリン 湯せん用なべ・空き瓶・カセットコンロ・割りばし

達成目標	自然素材の手作りクリームをつくる ワセリンは安くいろいろな事に使える（どんなことに使えるかを知る） （子どもエコクラブ⑨）	
どの力を身につけよ うとしましたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	ハンドクリームやリップクリームがどんな物で作られているかを知る ・ホホバオイル…、「ホホバ」という多年草の実や種子から抽出される天然	

	<p>オイルのことをさします。ホホバは『命の植物』とも呼ばれ、ホホバオイルは髪や肌のお手入れ、食用などとして古くから親しまれてきたオイルとされています。ホホバオイルの主成分である『ワックスエステル』が皮脂の代わりとなり、肌表面を膜で覆うようにして乾燥を防いでくれるとされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エッセンシャルオイル（精油）…自然植物の花や葉、木部、果皮、樹皮、根、種子などの部分に存在する天然の液体のことで、その植物の香り成分が凝縮されて含まれています。天然純度100%のものだけが「エッセンシャルオイル（精油）」と呼ばれます。 ・蜜蝋…ミツバチ（働きバチ）の巣を構成する蝋を精製したものをいう食用に巣のままの状態健康食品としてコムハニーという名目で販売されているほか、カヌレやガムなどの洋菓子にも使用される。肌や唇をしっとりやわらかくする効果があり、保湿成分としてもかなり優秀。 ・ワセリン…石油蒸留の際に重油から分離し、または蒸留後の残油を精製して得る、保湿剤のひとつ ・唇にリップ代わりとして・クレンジングの代わりに・全身保湿に使える 	
得られた成果	未実施	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	全く 少し かなり 大いに
	思考力・判断力・表現力	全く 少し かなり 大いに
	学びに向かう力・人間性	全く 少し かなり 大いに

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>みんなはまだ若いからあんまりリップクリームやハンドクリームを使うことはないかもしれないけれど、私達大人にとっては乾燥するので欠かせないです。</p> <p>私は夏でもリップクリームは必ず持ち歩くし、冬場の手荒れもひどいので、お風呂上りにはハンドクリームをたっぷり塗って、手袋をしてから寝ます。</p> <p>普通の生活でも欲しいものだから、冬場の避難所は特に保湿クリームが必要とされました。</p> <p>今回は、ハンドクリームやリップクリームがどんなものから作られて</p>

	<p>いるのかを知り、作ってみたいと思います。</p> <p>ワセリンは安くいろいろな使えるので、避難袋にも入れています。かゆみ止めではないけれど、空気を遮断してくれるので、蚊に刺された時にも少しは効果があります。</p> <p>ただ、どんなものでも肌に合わないことがあるかもしれないので、いきなりたっぷり使うのではなくて「パッチテスト」といって腕の内側にうすく塗って塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激など皮膚の異常を感じないかどうかテストする方法があります。(本格的にやるなら30分後と48時間後の観察が必要)</p>
--	--

実践したプランの内容と成果

記入日 (未実施)	西暦 2019 年 1 月 12 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (48)
タイトル	SOS 凧製作
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	3000 円未満
実践の準備にかかった時間	数十分
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 2 月 16 日 14 時 30 分 ～西暦 2019 年 2 月 16 日 15 時 30 分
実践の所要時間	1 時間～1 時間半 (手作りハンドクリームと同時進行予定)
実践の運営側で動いた人の人数	
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	朝来児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備した物 白地の凧×2・油性ペン 自分用凧 (ゴミ袋・ストロー・凧糸)

達成目標	SOS シート実験がうまくいかなかったことから、「助けを求める人」を上空から気が付いてもらえるにはどんな方法があるか考える	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

実践内容・方法	<p>白地の凧2種に、「ここに気が付いて欲しい」という目的を果たすためにどんな色、柄にしたら良いかを考える</p> <p>誘目性</p> <p>誘目性とは、意識していない状態でも自然に目に飛び込んで来やすい、人の注意を引く度合いのことを指します。</p> <p>一般的には、赤やオレンジ、黄色などの暖色系が誘目性が高く、人の注意を引きやすい色とされています。安全標識でも、禁止は赤、注意は黄色など、危険への注意喚起には誘目性の高い、暖色系の色が使われています。</p> <p>皆で考えた色・柄で着色する</p> <p>白無地の凧は2つしかないため、交代しながら空き時間は自分の凧（ぐにやぐにや凧）を作る</p>	
得られた成果	未実施	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	全く 少し かなり 大いに
	思考力・判断力・表現力	全く 少し かなり 大いに
	学びに向かう力・人間性	全く 少し かなり 大いに

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>「上富田町防災訓練」では、SOSシートがあまり役に立ちませんでした。作った時は大きいと思った「SOSシート」も、上空から見るとあんなに小さいとは思わなかった！</p> <p>大きい「SOSシート」を作るという方法もあるけれど、大きくなるほど作るのも、運ぶのも、置いておくのも難しくなります。今ある物をどうすれば、上空のヘリコプターに伝わるか？目立つ凧を作って来年の訓練に使用してみたいと思っています。</p> <p>他にも何か良いアイデアはないですか？</p>

実践したプランの内容と成果

記入日 (未実施)	西暦 2019 年 1 月 12 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号	チャレプラ (49)	
タイトル	近辺の津波・水害の被害の痕跡・慰霊碑を視察&ジオパーク探検	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	0 円	
実践の準備にかかった時間	数十分 (打ち合わせ)	
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 3 月 9 日 10 時 00 分 ～西暦 2019 年 3 月 9 日 12 時 00 分	
実践の所要時間	2 時間	
実践の運営側で動いた人の人数		
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民	
防災教育の対象者の人数	約 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	上富田のジオパーク・津波の痕跡の残っている所	
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	ジオパークや津波の痕の説明が出来る人	
達成目標	上富田のジオパークを知る 近辺の津波・水害の被害の痕跡・慰霊碑を視察 (和歌山ってスゴイ⑨) (子どもエコクラブ⑩…ジオパーク)	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	町の貸切バスで近辺の津波・水害の被害の痕跡・慰霊碑を視察 予定：「和歌山県内の津波碑」参照 ・彦五郎公園 (彦五郎堤防：南紀熊野ジオパーク) 度重なる水害で堤防が壊れて被害を受けていた上富田を守るために自ら堤防の人柱になったと伝えられる彦五郎の碑がある	

	<p>・大瀧神社（宝永津波の碑・安政津波の碑） 神社までの階段わきにそれぞれの津波が押し寄せた位置が記されている</p> <p>・新庄駅（南海大地震津波潮位標）</p> <p>・鹿島神社（宝永大地震からみなべの郷を守った） 大津波が沿岸の村々を次々と襲った時、鹿島から突如として巨大な鬼火が現れ、島が大津波を真っ二つに分けてみなべの郷を守ったと伝えられている</p> <p>和歌山には津波碑が 54 基あり、田辺市、白浜町、串本町などに多く見られる。その多くは津波到達記録に関する碑であり、市町村や自治会等によって建てられたものである。</p> <p>上富田は海と面しておらず、そのため「津波碑」もないが、近辺の津波碑や水害を記すものを見て、過去の災害を知る</p>	
得られた成果	未実施	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について		
関係者の名前・団体名	新田賢治さん	
関係者の説明	上富田町教育委員会	
関係者の連絡先	0739-47-5930	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ		
伝えたい相手	小学生	
伝えたい内容	<p>上富田町は海に面していないので、今まで（おそらく）津波の被害も受けたことが無いし、その記録も残っていません。でも、彦五郎公園はみんなも知っている通り、水害で被害を受けた上富田を守ろうとして、自ら堤防の人柱になった「彦五郎さん」の碑があります。昨年参加した「彦五郎慰霊祭」で分かるように、水害が起こったのは事実で、多くの人が亡くなりました。今はジオパークにも指定されています。</p> <p>田辺の新庄町が津波の被害を受けたことは知っていますか？朝来からも復興のお手伝いに行った記録が残っています。</p> <p>高台の神社の途中で「ここまで津波が来た」という碑があります。階段を上ってそこまで行ってみましょうね。どんなに大きい津波か分かりますと思います。</p> <p>みなべには「鹿島」という島がみなべの郷を守ったと言われています。</p> <p>今でも毎年行われている花火は、神様に感謝するためにずっと続けられています。</p> <p>こんな津波碑があちこちにあるので、興味あったら調べてみて下さい。</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日 (未実施)	西暦 2019 年 1 月 12 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ (50)
タイトル	ボルダリング体験
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	(ボルダリング施設使用料) 5000 円未満
実践の準備にかかった時間	数時間 (大人だけで事前に体験と講習に行った)
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 3 月 9 日 13 時 00 分 ～西暦 2019 年 3 月 13 日 15 時 00 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	
防災教育の対象者の属	小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・ 地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	梅の里ボルダリングウォール (清川ボルダリング施設)
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	ボルダリング経験者

達成目標	あとほんの少しだけ手を伸ばす方法を知る (あんどおりす先生による) 「三点支持」(登山の基本的な姿勢) を学ぶ	
どの力を身につけよ うとしましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

実践内容・方法	梅の里ボルダリングウォール（清川ボルダリング施設）にて体験 ルール確認 専用のシューズを履く 体験 自分達のルールでやってみる あんどうりす先生の「りすの四季だより」参照 ・オラウータン技 ・親指ロック その1 ・親指ロック その2 ・コウモリの術	
得られた成果	未実施	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	永井克実氏・梅の里ボルダリングウォール（清川ボルダリング施設）
関係者の説明	ボルダリング指導者
関係者の連絡先	0739-74-3134

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	ボルダリングは、ただ上まで登るのではなく、ちゃんとスポーツとしてのルールがあるのでまずはそれを守ってやってみましょう。人が登っている下には絶対に行かない、片手でぶら下がると、揺れた身体の反動で手をねじることがあるそうです。もちろん、降りる時のことも考えて上りましょう。「助けて！」と言われても助けられないからね。休憩の後には、今回は貸切なので、自分達のルールで楽しんでもいいかなと思います。たとえば、上に上るのではなく、横に動く競争を石の色や順番を関係なくやってみるとか。高く上るのが怖い人にも楽し

	<p>めるかなと思います。(私も楽しめる?)</p> <p>長くぶら下がる競争とか(私は無理)</p> <p>それから、「防災」というか自分を守るために、ぜひ、あんどおりす先生の技も試してみましよう</p> <ul style="list-style-type: none">・オラウータン技 <p>「あとほんの少しなのに手が届かない…」ということはなかったかな?手の上げ方で手の長さが変わる!この数センチがものすごく大事ってことがあるかもしれません。</p> <ul style="list-style-type: none">・親指ロック その1・親指ロック その2 <p>ぶら下がっていて、懸垂のように登れたら脱出できる、そんな時に瞬間的に懸垂する力を出せる方法です。</p> <ul style="list-style-type: none">・コウモリの術 <p>何かにぶら下がったまま救助を待たなければならない時、身体を出来るだけ楽にぶら下がる方法です。試してみてね。</p> <p>ボルダリングにも役立つかな?チャレンジしてみよう。</p>
--	--

実践したプランの内容と成果

記入日（未実施）	西暦 2019 年 1 月 12 日（2018 年度のチャレンジプラン）
実践団体名	上富田ふれあいルーム
実践番号	チャレプラ（51）
タイトル	「タイムカプセル郵便」みらいねっと（防災に取り組む今の気持ちを未来の自分にも伝えることができる）&お疲れ様会
実践担当者のお名前	幾島浩恵

実践にかかった金額	（24 名まで 5 年分：15000 円程度＋切手代）3 万円未満
実践の準備にかかった時間	数十分
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 3 月 23 日 13 時 30 分 ～西暦 2019 年 3 月 23 日 15 時 30 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	
防災教育の対象者の属性	小学生（低学年）・小学生（高学年）・中学生・高校生・大学生・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般
防災教育の対象者の人数	約 人
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町
実践を行った具体的な場所	朝来児童館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	「タイムカプセル郵便」みらいねっと

達成目標	防災に取り組む今の気持ちを未来の自分（5 年後）にも伝えることができる	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり

実践内容・方法	1年間学んできた「防災」について、心に残った事、忘れてはいけない事、未来の家族に伝えたいこと、今の自分から未来の自分に向けてのメッセージなど、手紙に書く。 持参した写真などと一緒に「タイムカプセル郵便」に送る		
得られた成果	未実施		
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	全く	少し かなり 大いに
	思考力・判断力・表現力	全く	少し かなり 大いに
	学びに向かう力・人間性	全く	少し かなり 大いに

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	小学生
伝えたい内容	<p>1年間「防災」を勉強してきました。今は、みんな「自分を守る、家族を助ける、みんなで助かる」という気もちだと思います。でも、悲しいかな、人間は時間が過ぎたり、忙しくなると忘れていきます。今3年から6年生のみんなが13歳～17歳になる5年後、今の気持ちを書いた手紙が届くよう、準備してみましよう。家族にむけてのメッセージもぜひ書いてくださいね。</p> <p>13歳は中学生、17歳はもう大人の一手手前です（成人が18歳になる 2022年4月1日の施行予定）今よりも、もっと力もあり、出来る事が増えていると思います。反対に親やおじいちゃん、おばあちゃん、私もだんだん年を取っていきます。</p> <p>それまでの自分に何が出来るか、その時に自分に何が出来るかをもう一度考えてみて欲しいです。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日 (未実施)	西暦 2019 年 1 月 12 日 (2018 年度のチャレンジプラン)	
実践団体名	上富田ふれあいルーム	
実践番号)	チャレプラ (52)	
タイトル	朝来児童館 BCP (講師と安全監理員で終了後に行う)	
実践担当者のお名前	幾島浩恵	
実践にかかった金額	ほぼ 0 円	
実践の準備にかかった時間	数十分	
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 3 月 23 日 15 時 30 分 ～西暦 2019 年 3 月 23 日 16 時 00 分	
実践の所要時間	30 分	
実践の運営側で動いた人の人数		
防災教育の対象者の属性	その他 (あっそ児童館関係者)	
防災教育の対象者の人数	約 人	
実践を行った都道府県と市区町村	和歌山県上富田町	
実践を行った具体的な場所	朝来児童館	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	BCP について分かる人	
達成目標	BCP について知り、「あっそ児童館」における BCP はどのようないしていくべきかを考え、共有する。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
実践内容・方法	<p>BCP について</p> <p>地震や洪水などの自然災害、感染症や大事故などが発生しても企業が重要な事業を中断させない、または中断したとしても可能な限り短い時間で復旧させるための方針、体制、手順を示した計画</p> <p>児童館の BCP とは…児童館を早く会館することで、周囲の復興の手助けとなる (避難所としての利用・子ども達が安全に過ごす場所としての使用・情報収集と情報提供の場所としての使用)</p>	

	<p>1.施設の利用者の安全確認 2.施設の安全確認（簡易検査の方法の周知） 3.利用者と関係者の連絡体制 4.施設管理者の確保（常時1名しかいないが交代要員の確保） 5.情報を集める（役場・教育委員会との連携） 6.情報の掲示の方法 7.まず取り組むこと（優先順位事項はなにか？）</p>		
得られた成果	未実施		
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	全く 少し かなり 大いに	
	思考力・判断力・表現力	全く 少し かなり 大いに	
	学びに向かう力・人間性	全く 少し かなり 大いに	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ			
伝えたい相手	児童館関係者（大人）		
伝えたい内容	<p>会社や企業ではないので、BCPのマニュアルを見てもじっくりこないところがありますが、「児童館」として、どうすることが、災害からの復旧復興に役立てるのかを考えた時、</p> <p>ここらでは、大規模災害時には朝来小学校が避難所になることは間違いないでしょう。ここには十分な備蓄もなく、耐震的にも不安がある。</p> <p>この建物がダメなら仕方がないけれど、使えるのであれば、避難生活をおくる人を受け入れたり、子ども達の居場所として開放できれば、早く学校を再開でき、家庭での片づけに大人が忙しい間も安心して遊ばせる場所が提供できるのではないかと思います。</p> <p>私も初めは朝来小学校に避難しても、おちつけば、たとえ家に住むことが出来なくても、家から近いこの朝来児童館に避難場所を移したいと思います。ここらは住宅も多く、同じように考えている人も多いでしょう。そういう人たちへの情報提供、支援物資の配布場所としても機能できたらと思います。</p> <p>そのためにあらかじめ決めておかなければならぬことを思いつだけ挙げてみました。他にもないでしょうか？</p> <p>ここの管理者は榎本先生だけですが、可能なら、私が交代して管理できるよう、教育委員会にも事前に了承をもらえたらと思います。</p>		